

令和3年度 第4回白井市市民参加推進会議

日 時：令和4年1月12日（水）午前9時から12時30分
場 所：白井市役所東庁舎3階 会議室302・303

次 第

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議 題

1) 総合的評価における担当課ヒアリング [資料1]

- ・ 事業番号④ 第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定
（高齢者福祉課）
- ・ 事業番号⑤ 第5次総合計画後期基本計画（企画政策課）
- ・ 事業番号⑥ 白井市第2次教育大綱（企画政策課）
- ・ 事業番号⑦ 白井市教育振興基本計画策定事業（教育総務課）
- ・ 事業番号⑧ 障害者計画2016-2025中間見直し及び第6期障害福祉計
画・第2期障害児福祉計画策定事業（障害福祉課）

2) 令和2年度市民参加の実施状況に対する総合的評価について

[資料2・3]

- ・ 事業番号① 白井市情報提供計画
- ・ 事業番号② 白井市国土強靱化地域計画
- ・ 事業番号③ 白井市地域防災計画の策定

4. その他

5. 閉 会

市民参加推進会議
ヒアリング対象事業 質問及び回答

事業番号④ 第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定 (高齢者福祉課)

質問事項	回答
【審議会に関する質問】	
①審議会では特定の委員だけでなく、全員が発言できていたか。	議題によって数名の委員の発言が多くなる場合もありましたが毎回同じ委員というわけではなく、審議会全体を通して全員が発言できていました。
【パブリックコメントに関する質問】	
②パブリックコメントが1件と少なかつた理由についてどのように考えているか。	本計画は市民意見等を反映しながら作成していることから、内容について市民の要望に沿ったものとなっているため意見が少なかつたものと認識しています。
③パブリックコメントのみ広報が不十分であった理由は、また、周知をもう少し積極的に行う必要があつたと思うがどのように考えているか。	パブリックコメントの周知方法については広報しろいのほか、市ホームページ、情報公開コーナー、図書館、各センターでのポスターによる周知を行っています。記載が漏れておりましたので修正します。
④パブリックコメントの結果公表をホームページに限定した理由は、	結果としてホームページに限定した公表となつたため、次期計画では、いただいた意見をより広く公表できるように情報公開コーナー、図書館へも公表します。
【アンケートに関する質問】	
⑤回収率が高かつたが、回収率を上げるための取り組みはあつたか。	アンケートの締め切り1週間前に督促のはがきを送付しました。
⑥対象者を65歳以上に限定した理由は、若い世代の意見も取り入れるべきではないか。	アンケートは、国の指針に基づき実施しており、必須とされる2つの調査(65歳以上を対象とした「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」、要介護者を対象とした「在宅介護実態調査」)及び、各市町村が任意で実施する調査があります。今回の任意調査として国から示されたものが「介護人材の確保」、「介護施設入退所に関する調査」とあり、当市でも課題としている介護人材の確保について、各事業所の状況を伺う「介護人材実態調査」を実施しました。 65歳以上の介護保険利用者を対象とした調査が多くなっていますが、より具体的な実態や課題を把握する観点から、介護保険への関心が高い層や関りが深い層を対象としてアンケートを行いました。

<p>⑦対象となった人数は約 15,000 人と思われるが、発送件数は2,500 件なくても実態は捉えられたのではないか。</p>	<p>今回のアンケート内容は前回の内容を基本にしたものであったため、回答結果について比較しやすいよう同数としたところです。</p>
<p>⑧氏名を記入させる必要はあったのか。また、プライバシーとの関係をどのように考えているか。</p>	<p>記名式を取ることで個人を特定し、その結果について総合相談をはじめとする地域包括支援センターによる支援活動に利用しています。 そのため、プライバシーに深くかかわる点ではありますが、取り扱いには細心の注意を払い記名式で実施しているところです。</p>
<p>⑨「在宅介護実態調査」及び「介護人材実態調査」の内容が調査票に記載されていない理由は。実施したのであれば評価点数に影響があるので調査票に追加してほしい。</p>	<p>添付が漏れておりましたので追加提出いたします。</p>
<p>⑩「在宅介護実態調査」及び「介護人材実態調査」の結果については審議会に報告されているか。</p>	<p>「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」と同時に、審議会に資料の配布、説明及び議論を行っております。</p>

市民参加推進会議
ヒアリング対象事業 質問及び回答

事業番号⑤ 第5次総合計画後期基本計画策定 (企画政策課)

質問事項	回答
【審議会に関する質問】	
①公募委員は平成29年8月に就任しているが、計画策定に携わったのは平成31年1月4日からということか。	<p>事業開始日とした平成31年1月4日は、後期基本計画策定に係る取組のうち、最も早い着手となった転出入アンケート調査の開始日であり、審議会として具体的に計画策定に携わったのは、後期基本計画の策定方針やスケジュールを議題の1つとした平成31年度第1回審議会（平成31年4月26日開催）以降です。</p> <p>なお、総合計画審議会が担任する事務については、基本計画の策定に関する事項について調査審議するほか、基本計画の進捗状況について市長に意見を述べることも含まれており、平成29年8月の就任以降、後期基本計画策定着手までの間は、市が前期基本計画において実施した施策の評価を中心としていたところです。</p>
②事業期間終了日（令和3年3月8日）と審議会委員の任期満了日（令和2年8月30日）が半年ずれている理由は。	<p>任期満了前である令和2年8月28日に総合計画審議会から後期基本計画（案）について答申を得た後、市議会において、10月に後期基本計画に関する調査特別委員会が設置され、令和2年12月18日に可決されました。</p> <p>なお、答申において、市民等が後期基本計画の内容を具体的にイメージできるよう見せ方を工夫するよう意見があったことを踏まえ、市民団体などの現場の声を盛り込み、後期基本計画書が完成した令和3年3月8日を事業完了日としたところです。</p>
【パブリックコメントに関する質問】	
③パブリックコメントで「素案には反映できないが今後の参考とする」とされた意見はどのように審議会にフィードバックされたのか。	<p>パブリックコメントの結果については、令和2年8月に開催した審議会において議論いただいたところです。</p> <p>「市がすでに実施している取組が十分に知られていないため、見せ方を工夫してはどうか」「今後、事業を進めるに当たって反映できるものもあるのではないか」といった意見をいただき、答申に反映されたほか、事業の実施の参考とするよう全職員に通知しました。</p>

【アンケートに関する質問】	
<p>④「まちづくりに関する若い世代へのアンケート」の回収件数が少なかった理由についてどのように考えているか。</p>	<p>本アンケートは、市内幼稚園、保育園、小中学校の保護者を対象に、各学校等を通じてチラシを配布して依頼したのですが、アンケートフォームへの接続数が少なかったことからアンケートに興味を持った世帯が少なかったことが考えられることに加え、「e モニター制度」により行っているアンケートと比較して、アンケートフォームへ接続したものの、回答まで至らなかった比率も高いことから、アンケートの設問数が 27 問と比較的多いことも影響していると考えられます。</p> <p>また、住民意識調査の対象となった世帯や「まちづくりに関する e モニターアンケート」で回答した世帯も一部含まれており、別の方法により回答していることも考えられます。</p>
<p>⑤「まちづくりに関する若い世代へのアンケート」及び「まちづくりに関する e モニターアンケート」の結果を審議会に報告しなかった理由は。</p>	<p>回答に誤りがあり、正しくは「資料の配布・説明に加え議論を行った」でした。大変失礼いたしました。</p> <p>令和元年 10 月に開催された審議会において、住民意識調査の結果の速報とともに議題としたところです。</p>
<p>⑥「まちづくりに関する e モニターアンケート」の発送件数が 115 件と少なかったと思われるがどのように考えているか。</p>	<p>本アンケートは、市が実施している「e モニター制度」を活用して実施したのですが、登録者数の増は課題であるところです。</p> <p>令和 2 年度から、回答率が一定の条件を満たした場合に抽選でプレゼントを実施する制度を開始するとともに周知を図り、令和 2 年度においては登録者数が 280 名に増加しました。</p>
<p>⑦「まちづくりに関する e モニターアンケート」の回収率が 45.2%と低かったがどのように考えているか。</p>	<p>平成 31 年度に「e モニター制度」を活用して実施した他のアンケートにおいても回答率は 5 割程度であり、回答率の向上は課題であるところです。</p> <p>令和 2 年度から、回答率が一定の条件を満たした場合に抽選でプレゼントを実施する制度を開始するとともに周知を図り、令和 2 年度においては回答率が 7 割程度に上昇しました。</p>

【ワークショップに関する質問】	
<p>⑧タウンミーティングの参加者が少なかった理由、市民意見交換会の参加者が多かった理由についてそれぞれどのように考えているか。</p>	<p>タウンミーティングにおいては、参加者の募集をホームページや広報等のほか、自治回覧や市内の各種団体にチラシを配布して行ったところですが、積極的に情報を得ない限り開催が気付きにくいことや、チラシを見ても総合計画がどういったものかわからないため、身近なこととして感じられなかったことが考えられます。</p> <p>市民意見交換会では、住民意識調査の対象者2,500人及び新たに無作為抽出した2,500名の合計5,000名に直接案内を送付したほか、白井高校への参加案内や、市内近隣の小売店舗にポスター掲示を依頼したことに加え、チラシにおいても、総合計画の説明を加え、総合計画がよりイメージしやすくなったことが参加者の増加につながったものと考えています。</p>
<p>⑨市民意見交換会は盛況な様子が伺えるが、それを文書で残し、職員同士で共有する等、次に生かすような対策はとられたか。</p>	<p>タウンミーティング及び市民意見交換会のいずれについても、報告書が完成後は速やかに全職員に通知することで、情報を共有するとともに、施策の立案や業務の参考とするよう図りました。</p>
<p>⑩「タウンミーティング」と「市民意見交換会」のそれぞれの違いや目的は何か。</p>	<p>タウンミーティングは、まちづくりの課題や問題などについて、広く市民の皆さんから市長が直接意見をうかがう場として継続的に実施しており、令和元年9月に実施した本タウンミーティングのほか、平成29年度には公共交通をテーマに開始しているところです。</p> <p>市民意見交換会は、タウンミーティングや各種調査などの結果を踏まえて、市民同士でさらに議論を深め、まちづくりのアイデアを後期基本計画策定に反映させるために、本計画策定において追加的に実施することとしたものです。</p> <p>なお、当日の具体的な内容については、総合計画や市の現状の説明を行った後に、グループに分かれ、テーマに沿って意見交換・ワークショップを行っており、いずれも同内容でした。</p>

【その他の質問】

⑪今回のようなバランスの良い市民参加の場が実現した要因は何か。専門家による助言や積極的な職員が策定に携わっていたのか、これまでの計画策定におけるノウハウなのか。

市の基本構想では、まちづくりの進め方として、市民と行政の間で情報を共有することや、市民が積極的にまちづくりに参加し、市民と行政が役割分担や連携のもとで協働していくことが掲げられているところです。

市の総合計画及び基本計画は市の最上位計画に位置し、市民や市民団体、事業者などすべての関係者に関わる計画であることから、可能な限り多くの市民が参加できるよう市として考え、策定を行ったものです。

市民参加推進会議
ヒアリング対象事業 質問及び回答

事業番号⑥ 白井市第2次教育大綱策定事業 (企画政策課)

質問事項	回答
【パブリックコメントに関する質問】	
①ホームページへのアクセス数が13件、意見が1人から5件と少なかったことについてどのように考えているか。	教育大綱は、家庭教育や社会教育、生涯学習といったすべての地域や年代を対象としているものの、学校教育に係る計画という印象を持たれ、子育て世代以外に関心がもたれなかった可能性があり、周知の仕方に改善の必要性があると考えています。
②パブリックコメントのみ実施した理由について	教育大綱(案)策定に当たっては、学校教育分野では、学校で実施している「学校生活満足度アンケート」のほか、校長会、教頭会などを通して子どもや保護者、現場の意見を吸い上げており、その他の教育分野においても、教育委員会各課が所掌する既存の審議会からの意見を踏まえているほか、後期基本計画策定において実施した住民意識調査や市民意見交換会の結果など既存の手法を有効に活用することを策定の方針として進めたところです。
③パブリックコメントで吸い上げられた意見をあまり計画に反映できなかった理由について	パブリックコメントで寄せられた意見については、市においては、教育大綱ではなく教育振興基本計画において具体的に示すこととしているものや、直ちに反映できないものの、今後の参考とするものであったことから、今回の素案の修正には至らなかったところです。
④パブリックコメントの結果を審議会へ報告したとの事だが、いつどのような形で報告されたのか。	策定方針において、市長と教育委員会から構成される総合教育会議の場で協議して策定することとしており、令和2年12月11日に報告したところです。

【その他の質問】	
<p>⑤パブリックコメント以外に独自の審議会設置やアンケートの実施などは検討しなかったか。</p>	<p>教育大綱(案)策定に当たっては、学校教育分野では、学校で実施している「学校生活満足度アンケート」のほか、校長会、教頭会などを通して子どもや保護者、現場の意見を聞く場を定期的に設けており、その他の教育分野においても、教育委員会各課が所掌する既存の審議会からの意見を踏まえているほか、後期基本計画策定において実施した住民意識調査や市民意見交換会の結果など既存の手法を有効に活用することを策定の方針として進めたところです。</p>
<p>⑥各分野の審議会、校長会、教頭会などの意見について審議会を設けて論議するべきではなかったか。</p>	<p>各附属機関、校長会、教頭会などの意見も踏まえ素案や案を作成し、総合教育会議において議題として意見をいただいたところです。</p>
<p>⑦調査票3ページの「8. 自己評価」の欄に「住民意識調査・市民意見交換会を活用し」とあるが、「住民意識調査・市民意見交換会を行い」が正確な表現ではないか。</p>	<p>住民意識調査や市民意見交換会は後期基本計画及び教育大綱のいずれも策定の基礎としていますが、教育大綱を策定するに当たり、平成31年2月に定めた策定方針において、後期基本計画の策定に当たって実施する住民意識調査などを活用すると記載していることから表記を合わせたものです。</p>

市民参加推進会議
ヒアリング対象事業 質問及び回答

事業番号⑦ 白井市教育振興基本計画 (教育総務課)

質問事項	回答
【パブリックコメントに関する質問】	
①パブリックコメントの件数が0件だったことについてどのように考えているか。	<p>教育振興基本計画の情報量が多いため、いつでもどこでも閲覧できるようQRコードを用いたところですが、周知方法の工夫が必要だったと考えます。</p> <p>また、概要版を作成することで、よりたくさんの人の目に触れたのではないかと考えます。</p>
②QRコードを用いた理由は若い方の参加を促すためだったのか。そうであれば、若い人がアクセスできる場所で積極的な広報が必要だったのではないか。	<p>教育振興基本計画の情報量が多いため、いつでもどこでも閲覧できるようQRコードを用いた。</p> <p>また、若い人がアクセスできるよう市公式SNSによるフェイスブックやTwitterなどでの発信も行ったところではあります。</p>
③パブリックコメントの結果を審議会へ報告したとの事だが、いつどのような形で報告されたのか。	<p>2月の教育委員会議及び各附属機関の審議会にて報告を行ったところではあります。</p>
【その他の質問】	
④独自の審議会設置やアンケート調査の実施などは検討しなかったか。	<p>教育委員会内で構成した策定本部会議や教育委員会議において検討を行い、次の理由から独自の審議会設置やアンケート調査について実施しなかったところではあります。</p> <p>(審議会を設置しない理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各分野に附属機関があること ・附属機関の構成員として市民公募委員が含まれていること <p>(アンケート調査を実施しない理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各附属機関や各学校でのアンケート調査実施 ・同時期に策定した「白井市第5次総合計画後期基本計画」のアンケート調査実施
⑤各分野の審議会、校長会、教頭会などの意見について審議会を設けて論議するべきではなかったか。	<p>各附属機関、校長会、教頭会などの意見については、教育委員会内で構成した策定本部会議や教育委員会議などで議論を行ったところではあります。</p>

<p>⑥コロナの収束の目途が立たないことから、今後は計画づくりにあたり決まりきったやり方以外も考慮していく必要があるのではないか。</p>	<p>コロナ禍の中、教育振興基本計画を実施していく上でどのような影響を及ぼしたかを事務事業評価にて検証し、指標にある目標値を見直すなど環境の変化や時代の変化にあわせて修正していく必要があると考えます。</p>
---	--

市民参加推進会議
ヒアリング対象事業 質問及び回答

事業番号⑧ 障害者計画 2016-2025 中間見直し及び第 6 期障害福祉計画・第 2 期障害児福祉計画策定事業 (障害福祉課)

質問事項	回答
【審議会に関する質問】	
①公募委員の人数が少なかったと思われるがどのように考えているか。	<p>肢体不自由、聴覚、視覚、精神、知的、発達障害等特定の障害に偏った委員構成にならないよう配慮や市内の関係団体等の全体のバランスを考慮した結果以下の構成としております。</p> <p>(1) 学識経験を有する者 1名 (2) 民生委員・児童委員 1名 (3) 公共的団体等の代表者 4名以内 (4) 障害者団体の代表者 6名以内 (5) 市民 3名以内</p>
②公募委員の 51 歳～65 歳の 2 名を選出しなかった理由は。	<p>応募動機が職務に適切であるものを優先、市政参画経験が少ない者を優先、男女比率の均衡、地域の均衡、年齢構成の均衡、同一団体・サークル等に所属していないか等を基準に順位づけした結果です。</p>
【パブリックコメントに関する質問】	
③ホームページのアクセス数や意見が少なかった理由についてどのように考えているか。	<p>当事者の人数、障害福祉への関心度、制度の複雑さ等が原因にあると考えております。</p> <p>共生社会の実現に向けた環境整備を推進してまいります。</p>
【アンケートに関する質問】	
④アンケート結果を審議会へいつ報告したか。報告していない場合その理由は。	<p>令和 2 年 7 月 1 4 日の令和 2 年度第 2 回白井市障害者計画等策定委員会にてアンケート結果を報告いたしました。</p>
⑤障害者手帳を所持していない市民 900 名を対象にアンケートを行ったがその内容は。	<p>障害者との交流状況、共生社会の実現に向けた課題、障がい理解に関する内容をアンケートいたしました。</p>

【団体ヒアリングに関する質問】	
⑥ヒアリングの結果については審議会へ報告・議論されたか。また、計画策定にどのように活かされたのか。	令和2年7月14日の令和2年度第2回白井市障害者計画等策定委員会にてヒアリング結果を報告いたしました。また、視覚障がい者にも配慮し、概要の点字資料、音声データ等の事前資料も作成し、委員へ送付した上で委員会を行っております。 計画への反映につきましては、白井市障害福祉計画・障害児福祉計画にヒアリング結果の要点をまとめたページを作成しており、同計画の各サービスの見込み量等の数値にも反映をさせていただいております。
⑦市内に障がい者関係団体はいくつあるか。また、ヒアリングに参加した団体は総団体数の何割か。	障害福祉課で把握しているのは、白井市心身連絡協議会に参加している5団体及び白井市こども発達センターの家族会であるいちごの会の計6団体になります。 全6団体がヒアリングに参加しております。
⑧ヒアリング団体を3団体とした理由は。また、なぜこの3団体としたか。	現状を把握するために当事者もしくは、当事者家族の団体である市内の全障がい者関係団体及び、障害サービス等の利用計画を作成している市内の全相談支援事業所にヒアリングを行いました。
⑨開催記録の公表までに1年かかった理由は。	アンケート結果とヒアリング結果を併せて、集計、分析、校正等を経て、基礎調査報告書として作成し、令和2年9月頃に製本したものを配布しております。 白井市障害者計画等策定委員会資料として、ホームページ、情報公開コーナー、委員へ随時公表を行っております。
⑩プライバシーに配慮した形の質問が必要と思われるが、どこまで内容を吟味した質問項目を設けたか。	取り組むべき課題を明らかにするとともにサービス利用量推移だけでは、把握できないニーズ等を読み取れる質問項目を国の基本指針も踏まえた上で設けました。 プライバシーについては、公表前にヒアリング団体に内容を確認していただいた上で、公表をしております。
【その他の質問】	
⑪資料等を福祉施設で公開しなかった理由は。	障害当事者だけでなく、広く意見を伺うため、市施設の中でも、誰もが出入りできる施設に資料を置き、パブリックコメントの募集を行いました。

※下線部分は、評価シートに記載があり、第2回会議での発言があったものを示しています。
 ※網掛け部分は、評価シートに記載がなく、第2回会議で発言があったものを示しています。

資料2

令和2年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号① 白井市情報提供計画

委員氏名												
総合評価 ①+②+③ 上限(30点)		◎ 良好 21点	○ 妥当 17点	○ 妥当 17点	◎ 良好 21点							
総合コメント		<ul style="list-style-type: none"> 概ね良好な取組みがなされた。 		<ul style="list-style-type: none"> 市民と行政の情報の共有は重要な課題といえます。若者を対象としたアンケートを行い、役員の方々の年齢構成(36才~50才代1名、50才から65才代2名、66才代1名)でどのような議論がなされたのか、教えていただければと思っています。 公募委員として無作為抽出の形で、36歳~50歳代の主婦層を1~2名取り込むとよいです。その理由は大いに意見を交わせると思うからです。 		<ul style="list-style-type: none"> この計画は、市民の生活と大きく関わってくるものだと思います。計画の策定にあたって情報の受け手である市民の声が重要です。それを考えればアンケート調査を行ったことは評価できます。ただ、もう少し市民の声を集めるため、市民公募の人数を増やすこと、パブリックコメントを増やす工夫などの検討が必要であったと思います。 		<ul style="list-style-type: none"> 効率的に市民参加を実施していたことが評価できました。しかし、テーマが情報提供であるため、他の市民参加の取り組みの先進事例となるような取組みがあっても良いような気がしました。例えば、議事録やパブリックコメントの際の文書を、できるだけ多くの方に読んでいただくための工夫をしてみることが挙げられるかと思っています。 				
担当課ヒアリング 質問事項				<ul style="list-style-type: none"> ①アンケートの実施時期について年度末、年度初めに行ったのは理由があるのでしょうか。 ②市民公募委員の数は妥当だと考えますでしょうか。 ③パブリックコメントの周知方法について、図書館やセンターで行うことは検討しませんでしたか。 		<ul style="list-style-type: none"> 今回、パブリックコメントの結果公表をHPのみで行っていますが、効率的であることが評価できる一方、資料を市の関係施設で見た方へのフィードバックという点が懸念されます。今回HPのみで公開した理由があれば、教えてください。 						
評価項目	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント				
①市民参加の方法	評点	8	<ul style="list-style-type: none"> もう一つ方法が加わってればベスト。 	6	<ul style="list-style-type: none"> 学識経験者・公募委員の方々の構成で会議が構成された点は素晴らしいと思う。 アンケートにおいて16才以上男女~何歳まで対象とされたのが明確にされた方が尚良いと思います。 	7	<ul style="list-style-type: none"> 審議会、パブリックコメントだけでなく、アンケート調査も実施したことは評価できます。もちろん、意見交換会など実施して直接、市民の声を聴くことも必要ですが、私は市民参加の方法の選択としては問題無かったと思います。 	8	<ul style="list-style-type: none"> 必要最低限の市民参加を実施しており、効率的だと思いました。 			
	区分	概ね適切		やや不適切		概ね適切		概ね適切				
②市民参加の手続き(基準)	評点	7		6		5		8				
	区分	妥当		要改善		要改善		妥当				
③市民参加の手続き(水準)	評点	6		5		5		5				
	区分	積極的		積極的		積極的		積極的				
手法ごとの評価	評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント				
審議会の設置	基準	<ul style="list-style-type: none"> 公募委員の募集方法が不足。 結果公表の方法が不足。 		基準	<ul style="list-style-type: none"> 会議録の公開に要する時間が2か月以内となってしまっている。できるだけ早い期間(1か月以内)の方が望ましいと思います。 		基準	<ul style="list-style-type: none"> 審議会で気になるのが、市民公募の人数です。計画の内容からもう少し市民公募の委員が入っても良いと思います。その他、市民公募の周知方法や、会議録の公表についてもまだいくつか行えたとと思います。 		基準		
	7			7			4					
	水準	<ul style="list-style-type: none"> 上記に同じ。 		水準	<ul style="list-style-type: none"> 1か月以内が会議録の公開に要する期間の望ましい水準となっており、間に合わなかった様子が伺える。残念です。 		水準	<ul style="list-style-type: none"> 市民公募の周知方法、会議録の公表など、積極的にやっているとはいえないと思います。 		水準	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供に関する審議会にも関わらず、結果公表がHPのみであったのが気になりました。 	
	6			6			4			5		
パブリックコメント(意見公募)募集	基準	<ul style="list-style-type: none"> 事前周知の方法が不足。 結果公表の方法が不足。 		基準	<ul style="list-style-type: none"> 結果の公表はHPのみとなってしまったのは何故か。 		基準	<ul style="list-style-type: none"> 周知方法という点で、SNSを利用して周知したことは評価できます。ただ、情報公開コーナーや図書館、センターなどで行われなかったのはなぜか気になります。 		基準	<ul style="list-style-type: none"> 意見の件数が少なかったことからHPのみでの結果公表でも良いと思いました。 	
	8			6			6			9		
	水準	<ul style="list-style-type: none"> 上記に同じ。 		水準	<ul style="list-style-type: none"> 「情報」に関するところからのため2週間の期限で行われたのだろうと推測します。 HPのアクセス数は素晴らしい。 		水準	<ul style="list-style-type: none"> やはり気になるのは、周知方法についてです。応募方法や資料の提供場所についてはセンターや、図書館、情報公開コーナーが使われていますが、周知はこうした施設では行われていません。パブリックコメントを多く集めるのであれば、そこでの周知も積極的に行う必要があったのではないかと。 		水準	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントの実施は、意見をもらうことだけでなく、人の目に触れることが大切かと思うので、色々なところで資料を提供したのは評価できると思いました。 	
6			5			5			6			
アンケート調査の実施	基準	<ul style="list-style-type: none"> 事前周知の方法が不足。 結果公表の方法が不足。 		基準	<ul style="list-style-type: none"> 事前周知無くアンケートされたにもかかわらず回収率は30%を上回った。調査時期が春休み前後とふんでアンケート発送した点が良かったのではないかと。 		基準	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの結果の公表が、ホームページのみですが、もう少し別の方法でも公表すべきではないかと思っています。 		基準		
	7			6			6			8		
	水準	<ul style="list-style-type: none"> 上記に同じ。 		水準	<ul style="list-style-type: none"> 事前周知の有無がアンケートの回収率にひびいたように思う。残念です。 		水準	<ul style="list-style-type: none"> 実施期間が2週間以上あるのは良いですが、実施した時期が年度末、年度初めでしたが、別の時期に実施した方がもう少し回収率が上がったのではないかと。 		水準	<ul style="list-style-type: none"> 結果公表までの期間が短いため、アンケート調査の結果について分析が行われたのかについて疑問が残りました。 	
	7			5			6			5		

※下線部分は、評価シートに記載があり、第2回会議での発言があったものを示しています。
 ※網掛け部分は、評価シートに記載がなく、第2回会議で発言があったものを示しています。

令和2年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号① 白井市情報提供計画

委員氏名		平均(小数点以下切り捨て)								
総合評価 ①+②+③ 上限(30点)		× 不良	○ 妥当							
総合コメント		8点	17点							
担当課ヒアリング 質問事項										
評価項目		8点	19点							
①市民参加の方法		3	6							
②市民参加の手続き(基準)		5	6							
③市民参加の手続き(水準)		0	4							
手法ごとの評価		3	6							
審議会の設置		5	6							
パブリックコメント(意見公募)募集		5	6							
アンケート調査の実施		5	6							
総合コメント		1.事業内容からして、公募委員は幅広い年齢層から選出するべきだが、偏りがあり、人数も少ない。従って、応募が少ない時点で別の募集方法を検討した方が良かったと思う。 2.審議会が平成31年度(令和1年)に1回のみというのは、少ない。令和2年も8月14日が第1回目であり、空白期間が長すぎる。 3.令和2年8月～12月の事業期間終了間際にアンケート・提案・パブコメと検討時間が限られた中で仕上げた感が強い。本当に良いものが決定されたのか疑問に思った。 4.形式的評価だけでは市民参加度を測れないと思う。	○ 妥当	17点	× 不良	9点	○ 妥当	19点	○ 妥当	16点
担当課ヒアリング 質問事項								・令和2年度はオンラインのみの開催なのか？オンラインの環境のない人は傍聴できない。		
評価項目		8点	19点							
①市民参加の方法		3	6							
区分		不適切	やや不適切							
②市民参加の手続き(基準)		5	6							
区分		要改善	要改善							
③市民参加の手続き(水準)		0	5							
区分		普通	積極的							
手法ごとの評価		3	6							
審議会の設置		5	6							
区分		基準	基準							
パブリックコメント(意見公募)募集		5	6							
区分		水準	水準							
アンケート調査の実施		5	6							
区分		水準	水準							
コメント		1.平成31年の審議会が1回は少なすぎる。書面会議はできるはずだが。 2.パブコメ・アンケート調査の時期が遅すぎる。	・月並みな手法だけで、枠を超える努力が不足している。							
コメント		1.公募委員の年齢層が偏っている。幅広い年齢層が必要。再公募とかなぜ検討しなかったのか。 2.会議の回数が3回と記載されているが、調査票では6回との記載。会議開催の間隔が不適切。その理由は？ 3.もっと幅広い年齢層を取り込む工夫も必要だったのでは。	・合計7点 ・選出地区が偏っており、若い世代がいない。							
コメント		1.実施時期が遅い。 2.HPアクセス数は、160件あったのは関心が高いから？ 3.審議会への報告が12/24だが、事業の終了間際。 4.意見を施策へ反映させるための十分な検討期間を取れなかったのでは。	・合計7点							
コメント		1.コロナで集まれないことから審議会への報告が遅れた可能性はあるかもしれないが、その間に各委員へ書面による結果報告等はできたのでは。	・合計6点 ・募集期間が短い。 ・ほかの会議メンバーなどへのお知らせなど+αが必要では。							
コメント		1.事前周知しなかった理由は？ 2.公募委員に偏りがあるため、発送件数は増やした方が良かったのではないかと。 3.結果公表がHPだけでは足りない。	・合計6点 ・対象は無作為抽出だけでは無く情報アクセス者も含めるべき。 ・情報公開の手段が少ない。							
コメント		1.コロナで集まれないことから審議会への報告が遅れた可能性はあるかもしれないが、その間に各委員へ書面による結果報告等はできたのでは。	・合計5点							
コメント		・情報提供は市民との情報共有と考えれば、市民がどの様な情報を求め、それらを得るために実際にどの様に行動しているのか、などをあぶり出してルートと提供体制を増やす努力が必要だと考えます。 ・無作為抽出のアンケートだけでは無く、日頃市政と関わりを持つ人たちのヒアリングが大切ではありませんか。	・本事業は、市民と行政が双方向の情報の流れを作り、情報を共有する事を一層強化することを目的としている。ここ数年、デジタル化も進み、情報の手段等も多様化しており、市民は、情報をどのような形で捉え、情報を共有しているかアンケートによる実態調査は効果もあった。審議会に於いては、会議の準備に疑問。パブリックコメント実施については、情報化提供計画の実践にもかかわらず、発信ツールは、運えたが、従来と同じ方策で何ら工夫は感じられない。							
コメント		・令和2年度はZoomのみなのは、こ時世上仕方ないとは思うが残念。審議会・パブリックコメント・アンケートの結果が全てHPでの公表のみだったのがもったいない。	・令和2年度はオンラインのみの開催なのか？オンラインの環境のない人は傍聴できない。							
コメント		・委員6名のうち3名が学識経験者なのは多いような気がする。	・デジタル化も進み、情報の手段も多様化しており、市民の実態把握にアンケート調査の手法は適切な方法と思われる。効果もあった。事業内容の課題・問題点を市民から求めるパブリックコメントは従来通りの方策で評価せず。審議会は、Zoomを3回採用し新たな取り組み。							
コメント		・結果の公表がHPのみなのはなぜか？	・Zoomの採用などの取り組みはみられるが、会議の開催など会議の運営には検討を有す。							
コメント		・結果の公表がなぜHPのみか？	・デジタル化も進み、情報の手段も多様化していることから、発信ツールを増やして実施。							
コメント		・情報公開コーナー・図書館等で公表してもよかったと思う。	・情報提供計画の実践にも拘らず、発信ツールのみで、従来通りの方策で何ら工夫なり、取り組みなどが見られない。公表の前に審議会への報告が原則ではないか。							
コメント		・結果の公表がなぜHPのみか？	・事前に周知すること無く、基準以上の成果があったが、事前にいろんなツールを使って周知することで、現状以上の成果は期待できたと思われる。新たな情報提供計画の実践にもなる。公開の前に審議会への報告が原則ではないか。							
コメント		・情報公開コーナー・図書館等で公表してもよかったと思う。								

※下線部分は、評価シートに記載があり、第2回会議での発言があったものを示しています。
 ※網掛け部分は、評価シートに記載がなく、第2回会議で発言があったものを示しています。

資料2

令和2年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号② 白井市国土強靱化地域計画の策定

委員氏名		○ 妥当 17点		○ 妥当 18点		○ 妥当 16点		○ 妥当 16点	
総合評価 ①+②+③ 上限(30点)		○ 妥当 17点		○ 妥当 18点		○ 妥当 16点		○ 妥当 16点	
総合コメント		・公募委員の設定がよかったのではないかと。「市民参加」のレベルには達していない。		・技術的・専門的な審議会の割合が60%以上ではないでしょうか。(意見交換会も含めて)ですから、集まる方々の年齢層・性別は公表する形にしなければならないと思います。 ・防災に関する事業のため、「自助・共助」という視点が必要です。条例第6条に規定する行政活動として「政策的な判断を要しない事項について条例の改正」にシートのチェックが入るべきではないでしょうか。		・この計画の内容から、市民公募委員がゼロであることは理解できません。ただ、会議開催の周知方法などを積極的に実施しなかったことは疑問です。また、意見交換会の結果公表については、担当窓口のみであり、より多くの市民が議論の内容を知れるように他の場所でも公表すべきだと思います。		・3つの市民参加を行っており、それぞれ役割をはたしたら、バランスが大変よかったと考えられる。しかし、パブリックコメントの意見が0件だったことや、意見交換会開催後に審議会が開催されていないのが気になりました。もし計画策定内容の説明会的な位置付けであれば、説明会とした方が良かったと思います。	
担当課ヒアリング 質問事項						①会議開催の周知方法で、ホームページなどを活用しなかった理由があるのでしょうか。 ②パブリックコメントがゼロというのは、何か理由があるのでしょうか。 ③意見交換会の結果公表を担当課窓口だけで行ったのは理由があるのでしょうか。		・審議会に公募市民を入れなかったのは何故ですか？ ・意見交換会後に審議会が開催されていないようですが、交換された意見はどのように取り扱われたのでしょうか？	
評価項目	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	
①市民参加の方法	評点	8	もう一つ方法が欲しい。	7	・防災に対する市民の関心は年齢を問わず強いと思います。その点を踏まえて再度この事業が策定される時、しっかりと会議する役員構成から始まり、年齢層がたまたまなよう配慮すべきではないかと思いました。	7	・計画内容から、関係機関が集まる防災会議で審議、検討されたのは理解できます。加えて、市民の意見を計画に反映させるためにパブリックコメントや意見交換会を行うことも良かったと思います。ただ、市民参加の手続きにおいては、いくつか問題があると思います。	5	・審議会は専門的な議論をする場と市民代表との対話の場を分けて、バランスが良い。
	区分	概ね適切		概ね適切		概ね適切		やや不適切	
②市民参加の手続き(基準)	評点	5		5		4		6	
	区分	要改善		要改善		不良		要改善	
③市民参加の手続き(水準)	評点	4		6		5		5	
	区分	やや積極的		積極的		積極的		積極的	
手法ごとの評価	評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント	
審議会の設置	基準	・公募委員の非設定 ・事前周知の不足 ・結果公表の方法の不足 「市民参加」の割合が低い。		基準	・防災に対しての事はなかなか難しい問題もあるが、委員の人数が多すぎて具体的な内容を議論する余地はあったのでしょうか。		基準	・計画の内容から市民公募委員が参加していないのは理解できません。	
	3			3			3		
	水準	・上記に同じ。		水準	・農協や商工会の職員の年齢層も具体的にチェックされた方がよいと思います。		水準	・市民公募の委員が参加していない会議であるからこそ、市民に対して会議の開催を積極的に進めるべきだと思います。	
	3			4			3		
パブリックコメント (意見公募)募集	基準	・概ね良好。		基準	・パブリックコメントの意見を図書館等で公表していないのは残念だ。		基準	・パブリックコメントの周知方法など、進める過程のなかで大きく気になる点はないと思われます。ただ、パブリックコメントの件数が0ということは、何か問題があったのでしょうか。	
	8			6			5		
	水準	・上記に同じ。		水準	・意見が0件は工夫が必要だと思います。		水準	・事前周知は、保健福祉センターなど様々な場所で積極的に行っていると思います。	
	8			7			7		
意見交換会の開催	基準	・事前周知の方法 ・結果公表 取り組めていない。		基準	・若い自治会役員さんにも積極的に参加してもらえようポスターによるPRも実施した方がよいと思います。		基準	・対象者を自治会・自主防災組織に所属している市民に限定しており、対象者に案内を郵便送付していることから問題ないかと思えます。ただ、結果の公表が担当窓口のみなのが気になります。	
	6			7			6		
	水準	・取り組めていない。		水準	・案件が案件だけに土日に意見交換会が開催されているのは妥当だと思う。		水準	・結果の公表方法は、担当窓口のみだけではなく他の方法も活用して積極的に公表すべきだと思います。	
	2			8			5		

※下線部分は、評価シートに記載があり、第2回会議での発言があったものを示しています。
 ※網掛け部分は、評価シートに記載がなく、第2回会議で発言があったものを示しています。

資料2

令和2年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号② 白井市国土強靱化地域計画の策定

委員氏名		× 不良		8点		△ 要改善		11点		× 不良		8点		○ 妥当		14点		△ 要改善		13点																					
総合評価 ①+②+③ 上限(30点)		平均(小数点以下切り捨て)																																							
総合コメント		1.事業期間が令和2年4/1~令和3年3/末なので1年間?調査票2頁の審議会設置は令和1年7/1~令和3年6/30で不一致。 2.審議会のメンバーに公募市民を入れてもよかつたのではないか。 3.防災会議の中に審議会を設置し開催が令和2年に2回で1回は審議会。リアル会議は1回だが、参加者は60%。計画策定の審議会としては、不十分ではないか。 4.計画案は、事業期間の間に策定できたのか。会議が令和2年11/7の2回目まで終わっているならば、策定出来ていないのではないか?審議会後に、意見交換・パブコメを実施したのか? 5.手続き面だけでなく、内容・結果等で評価する必要があると思う。										・パブリックコメントや意見交換会はあるものの審議会メンバーに一般市民が含まれていない事に違和感がある。										・大規模自然災害に対して、発生するリスクにどのように備え対策するか重要となり市民の関心の高い事項である。本事業計画を多くの市民に提供し、市民と計画・情報を共有化すべくパブリックコメント、意見交換会を実施。特に自治会・防災会との意見交換会は、自治会・防災会経由市民にも本計画の情報が伝わり効果的であったと思われる。										・女性の比率が少ないのとパブリックコメントがなかったのが残念。									
担当課ヒアリング 質問事項												・パブリックコメントの意見提出に係る資格に白井市に事業所を有する法人や団体としたのはなぜ。取って代わらなくても良いのではないか。										・3-3で「無」に記入しているのに3-4に記載がない。 ・6-2「公開していない」に記入しているが、6-3~6-7「公開」になっている。 ・1-3 内訳がおかしい。																			
評価項目		評点		コメント		評点		コメント		評点		コメント		評点		コメント		評点		コメント																					
①市民参加の方法	評点	5		1.審議会の回数不足。 2.パブリックコメントは手続き面において特段の問題点は見当たらなかった。 3.意見交換会の参加資格を自治会・自主防災組織に所属する市民に限定することの是非。		5				3		・市民の関心の高い事項であり、市民との情報共有化のため、パブリックコメント、意見交換会の開催は、適切であった。ただし、すべて市民参加の実施として不十分である。		5		・調査票のミスが多く、そっちに気を取られてしまう。 ・2-2で記載あるが、これを市民参加と捉えていいのかわからない。		5																							
	区分	やや不適切				やや不適切				不適切				やや不適切				やや不適切																							
②市民参加の手続き(基準)	評点	3				3				4				6				4																							
	区分	不良				不良				不良				要改善				不良																							
③市民参加の手続き(水準)	評点	0				3				1				3				3																							
	区分	普通				やや積極的				普通				やや積極的				やや積極的																							
手法ごとの評価		評点		コメント		評点		コメント		評点		コメント		評点		コメント		評点		コメント																					
審議会の設置	基準	1.審議会の開催回数・方法・周知方法等の全てに問題あり。		基準		・合計1点 ・基本的に一般市民が直接意見を述べる事が出来ない。		基準		・白井市防災会議条例に基づく組織・審議会であるため、公募による市民の参加していないが、白井市の市民の代表が参加しており、審議会の構成基準は適切と思われる。書面による会議、開催回数など会議の運営に検討の余地あり。		基準		・女性が少ない。		基準		基準																							
	2			1				2				7				3																									
	水準			水準		・合計2点		水準		・市民の関心の高い事項、書面による会議ではなく、Zoom採用など運営に工夫がほしい。審議会の中で十分な議論がほしい。		水準		・男女比の改善		水準		水準																							
	0			2				1				4				2																									
パブリックコメント (意見公募)募集	基準	1.アクセス件数が128件は評価できる。 2.意見が無かった理由は何か?		基準		・合計6点		基準		・広く市民に本事業計画について知ってもらうべく取り組んでおり、基準を満たしている点もあるが、積極的な市民参加が感じられない。		基準		・コメントがなかったのが残念。		基準		基準																							
	5			6				5				7				6																									
	水準			水準		・合計8点		水準		・市民の関心の高い事項、意見を多くとるため積極的な展開が望まれる。資料の提供場所、周知の方法などにも工夫がほしい。		水準				水準		水準																							
	1			8				1				4				5																									
意見交換会の開催	基準	1.意見交換会は、参加資格に限定をしない方が良いと思う。 2.事前周知方法が不足。開催記録がきわめて限定的であり、不十分。		基準		・合計4点		基準		・本事業計画について、多くの市民に提供し、市民と共有すべく、地元自治会や防災会との意見交換は効果的であったと思われる。		基準		・なぜ公表が担当課窓口だけなのか。		基準		基準																							
	3			4				5				5				5																									
	水準			水準		・3項目判断で0点		水準		・自治会や防災会だけに限定することなく、その他の市民参加も認めた意見交換会などの開催回数も増やし、広く市民に直接、本事業計画についての情報を共有化する。		水準		・4-6の理由が「当日対応」となっているが、内輪だけで済ませているのか。		水準		水準																							
	1			0				1				3				3																									

※下線部分は、評価シートに記載があり、第2回会議での発言があったものを示しています。
 ※網掛け部分は、評価シートに記載がなく、第2回会議で発言があったものを示しています。

資料2

令和2年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号③ 白井市地域防災計画の策定

委員氏名		○ 妥当 16点		◎ 良好 22点		○ 妥当 16点		◎ 良好 20点	
総合評価 ①+②+③ 上限(30点)		○ 妥当 16点		◎ 良好 22点		○ 妥当 16点		◎ 良好 20点	
総合コメント		<ul style="list-style-type: none"> 公選委員の設定が良かったのではないかと、「市民参加」のレベルには達していない。 		<ul style="list-style-type: none"> 土日休日に意見交換会が開催されているのは大変望ましいです。防災に対する関心は若年層も多くなっています。若い方々に交換会に参加してもらうためには紙面やインターネット等PRの仕方に工夫が必要ではないでしょうか。 委員の女性の比率が少なすぎると思います。 		<ul style="list-style-type: none"> この計画も内容から市民公募委員がゼロということは理解できません。ただ、会議開催の周知方法などを積極的に行って欲しいと思います。また、一番気になるのが、意見交換会の公表時期がかなり遅いことです。これは何か理由があるのか気になります。 		<ul style="list-style-type: none"> 3つの市民参加を行っており、それぞれが役割を果たしており、バランスが大変良かったと考えられる。パブリックコメントの件数が多かったことや意見交換会の後に審議会が開催されていることにより、評価が高くなった。 	
担当課ヒアリング 質問事項						<ul style="list-style-type: none"> ①会議開催の周知方法で、ホームページなどを活用しなかった理由があるのでしょうか。 ②意見交換会の市の考え方の公表が遅いですが、何か理由があるのでしょうか。 		<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントの意見件数を多くするために工夫はされましたか？ 意見交換会の意見は審議会にどのように反映されましたか？ 白井市国土強靱化地域計画の策定との連携はありましたか？具体的にどのように連携しましたか？審議会の委員が同じ場合、各委員会における役割など、事前説明されていましたか？ 	
評価項目	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	
①市民参加の方法	評点	8	もう一つ方法が欲しい。	7	何年後か(7~8年後?10年後?)再度この事業が策定される時、しっかり修正されるためには、意見交換会を2回行われているが、3回(1回増やす)程行った方が良いと聞かれます。20代~30代等若い方々にも関心を持ってもらうためにはPRの紙面をしっかりと工夫すべきだと思います。	7	この計画も国土強靱化計画と同様に、市民公募委員がゼロということは理解できません。また、パブリックコメントや意見交換会を行ったことは評価できます。ただ、この計画も手続きという点では、いくつか問題があるかと思えます。	8	審議会は専門的な議論をする場と市民代表との対話の場を分けて、バランスが良い。
	区分	概ね適切		概ね適切		概ね適切		概ね適切	
②市民参加の手続き(基準)	評点	5		8		5		7	
	区分	要改善		妥当		要改善		妥当	
③市民参加の手続き(水準)	評点	3		7		4		5	
	区分	やや積極的		とても積極的		やや積極的		積極的	
手法ごとの評価	評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント	
審議会の設置	基準	市民参加レベルには達していない。		基準	属性に偏りが生じている(女性が少人数である)。		基準	結果公表は、図書館や情報公開コーナーで公表すべきだと考えます。	
	3			7			5		
	水準	上記に同じ。		水準	農協及び商工会の職員の助けを必要とするのは分かるが、女性が少ないと思います。		水準	結果公表の方法について、もっと積極的に実施していくことが必要であったと思います。	
	3			6			3		
パブリックコメント(意見公募)募集	基準	提供資料・事前周知の方法・結果公表基準未達。		基準	素案・概要又案内や意見書等資料をそろえ、提供している。誰しも関心が高い事柄であることから、13件の意見が上がったと思われます。		基準	パブリックコメントの手続きについて大きな問題はないかと思えます。一つ挙げれば、公表の方法を図書館やセンターでも行って良いのではないかと考えます。	
	5			9			6		
	水準	上記に同じ。		水準	HPのアクセス件数もあり、5人の方から13件いただいた。		水準	こちらで国土強靱化計画と同様に、保健福祉センターを含めて周知を積極的に行っていると思えます。	
意見交換会の開催	基準	概ね良好だが、事前周知の方法、結果公表 不十分。		基準	防災に対する関心は若年層も多くなっている。その実態も心まえ若い方にも交換会に参加してもらえるよう「PRの仕方」を工夫すべきです。又、回数も2回から3回にした方がよいです。		基準	こちらで国土強靱化計画と同様に、対象者を自治会・自主防災組織に所属している市民に限定しており、対象者に案内を郵便送付していることから問題ないかと思えます。ただ、こちらで結果の公表が担当窓口のみなのが気になります。	
	7			8			6		
	水準	ほとんど未達。		水準	土日休日に開催されているのは望ましいです。2回より3回(回数を1回増やす)の方が望ましいのではないかと。		水準	開催記録の公表方法について担当課窓口だけでなく、他の方法でも行う必要があったと思えます。	
	2			7			3		

※下線部分は、評価シートに記載があり、第2回会議での発言があったものを示しています。
 ※網掛け部分は、評価シートに記載がなく、第2回会議で発言があったものを示しています。

資料2

令和2年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号③ 白井市地域防災計画の策定

委員氏名		△ 要改善		10点		△ 要改善		13点		△ 要改善		12点		○ 妥当		18点		○ 妥当		15点	
総合評価 ①+②+③ 上限(30点)		△ 要改善		10点		△ 要改善		13点		△ 要改善		12点		○ 妥当		18点		○ 妥当		15点	
総合コメント		1.委員は、学識経験者・公益団体代表者・市職員・商工会・農協だが、市民個人が入っていないのは何故か。公益団体代表者とは?自治会委員は市民の65%位? 2.審議会開催時のみ出席の市民個人又は自治会役員が入っても良いのではないか。 3.令和2年度3回の審議会中、2回は書面会議であり、1回はリアル会議。審議は尽くされたと言えるのか疑問。 4.審議会が充分とは言えないため、アンケートの活用があっても良かったのではないか。 5.意見交換会の開催は良かったが、3のことから市役所だけではなく、3カ所位で実施した方が良かったと思う。 6.形式的な評価だけではなく、実質的な観点からの評価も必要と考える。		・パブリックコメントや意見交換会はあるものの審議会メンバーに一般市民が含まれていない事に違和感がある。		・防災については、最近頻繁に起こる、地震、水害事故により、市民は身近で関心の高い事項である。本事業計画を多くの市民に提供し、市民と計画・情報を共有すべく、パブリックコメント、意見交換会などの取り組みに積極的な姿勢も見られる。特に意見交換会における自治会・防災会の手法は、市民目線での防災についての意見交換実施と共に、自治会・防災会経由地元市民にも本計画の情報も伝わったと思われる。		・意見交換会を土日休日に行うなどの工夫でたくさんの市民の意見が聞けたと思う。													
担当課ヒアリング 質問事項		1.審議会は、白井市防災会議の中で、行われたことと理解して良いか。 2.審議会は、事業期間1年8カ月間で何回開催されたのか。																			
評価項目		評点		コメント		評点		コメント		評点		コメント		評点		コメント					
①市民参加の方法	評点	4	1.書面会議は、質問や双方向のやり取りができないので、計画案の策定には向かないのではないか。 2.アンケートを活用しても良かったのではないか。	5		5	・市民の関心の高い事項で、広く市民との情報の共有化のため、パブリックコメント、意見交換会の開催は、実施内容も含め、適切であった。	6	・女性が少ない。 ・会議の内容上仕方ないのかもしれないが、市内在住の勤が13名と半数以下。 ・2-2で記載があるが、これで市民参加とっていいのかわからない。	6											
	区分	不適切		やや不適切		やや不適切		やや不適切													
②市民参加の手続き(基準)	評点	4		4		5		7		5											
	区分	不良		不良		要改善		妥当		要改善											
③市民参加の手続き(水準)	評点	2		4		2		5		4											
	区分	やや積極的		やや積極的		やや積極的		積極的		やや積極的											
手法ごとの評価		評点		コメント		評点		コメント		評点		コメント		評点		コメント					
審議会の設置	基準		1.審議会の回数が少ない。十分に議論できているとは言えない。 2.審議会は、防災会議メンバーだけではなく、一般市民を参加させても良いのではないか。理由はパブリックコメントを一般市民から求めているから。 3.会議の事前周知不足。会議録の公表がHPだけでは不足。	基準	・合計2点 ・基本的に一般市民が直接意見を述べる事が出来ない。	基準	・白井市防災会議条例に基づく組織・審議会であるため公募による市民は参加していないが、白井市の市民の代表なども参加しており、基準は適切。会議の開催が令和2年に集中。また、書面による会議など、会議の運営に検討の余地あり。	基準	・女性が少ない。 ・3回のうち2回が書面会議では会議といえないと思う。	基準											
	3			2		3		7		4											
	水準		1.資料について、事前にホームページへの掲載や出席者が事前にみられるようにした方が良いのでは。	水準	・合計3点	水準	・会議の開催回数、書面による会議など会議の運営に工夫がほしい。Zoomの利用など検討し、審議会の中での議論展開を望む。	水準	・公表がHP・窓口のみなのは残念。一般の人が参加しないのであればもっといろいろな所で公表するべきだと思う。	水準											
	0			3		1		4		2											
パブリックコメント(意見公募)募集	基準		1.アクセス数が125件あったのは、関心が高い? 2.形式的評価は高い。 3.他と比較して意見の件数も5人 13件は多い。	基準	・合計7点	基準	・情報の提供から結果の取り扱いまでほぼ基準は満たしている。	基準	・コメントの募集期間が他よりも長めに設定されていていいと思う。	基準											
	7			7		7		7		7											
	水準			水準	・合計6点	水準	・市民の非常に関心の高い事業計画のため、資料の提供場所、周知の方法などにもう少しの工夫により大きな成果が得られたと推察。	水準	・件数も多いのでいろいろな意見があっただけよかったと思う。	水準											
	7			6		4		6		6											
意見交換会の開催	基準		1.調査票10頁の開催記録の作成欄の公表の日は正しい?これからするのか? そうだとすると遅すぎる。 2.参加者が自治会・自主防災組織に所属している者に限定するのは良くないのではないか。自治会加入者は65%程度。	基準	・合計4点	基準	・本事業計画について、多くの市民に提供し、市民と情報・計画を共有すべく地元自治会や防災会との意見交換は効果的であったと思われる。	基準	・市民が参加しやすいように土日休日に行ったのはとてもよいと思う。 ・結果の公表が担当課窓口のみというのが残念。 ・12月分の公開はしていないのか?	基準											
	2			4		5		8		6											
	水準		1.資料について、事前にホームページへの掲載や出席者が事前にみられるようにした方が良いのでは。	水準	・3項目判断なので5点	水準	・自治会や防災会だけに限定することなく、その他の市民参加も認めた意見交換会など開催回数も増やし、広く市民に直接、本事業計画についての情報を知らせる。	水準	・市民の意見を広く公開したほうがよかったと思う。	水準											
	0			5		1		6		3											

答申（案）

総合的評価について

終了事業 令和2年度

1.白井市情報提供計画

総合コメント	総合評価(30点満点)
<p>・計画の策定にあたっては情報の受け手である市民の声が重要であることから、アンケートによる実態調査は効果があったと思われる。</p> <p>・公募委員が少なく、年齢層も偏っている。市民公募の人数の増、幅広い年齢層からの選出など検討が必要だったのではないか。</p> <p>・情報提供に関する計画であるため、議事録やパブリックコメントの結果を多くの方に読んでもらうための工夫など、他の市民参加の先進事例となるような取り組みがあれば良かった。</p>	<p>16</p> <p>○(妥当)</p>
「市民参加の方法」の評価	評価(10点満点)
<p style="text-align: center;">【実施状況】</p> <p style="text-align: center;">審議会の設置:平成30年11月13日～令和2年12月24日</p> <p style="text-align: center;">パブリックコメントの募集:令和2年12月1日～令和2年12月14日</p> <p style="text-align: center;">アンケート調査の実施:令和2年3月27日～令和2年4月12日</p>	<p>6</p>
コメント	/
<p>・デジタル化が進み、情報発信の方法も多様化していることから、市民の実態を把握するためにアンケート調査を実施したことは適切であり、効果もあったと思われる。</p> <p>・審議会、パブリックコメント、アンケート調査を実施したことについて評価できる。もう一つ方法が加わっていただければさらによかった。</p> <p>・3つの手法以外にも、日頃市政との関わりを持つ方へヒアリングを行うなど、他の手法を用いる必要があったのではないか。</p>	
「市民参加の手続き(基準)」の評価	評価(10点満点)
/	<p>6</p>
「市民参加の手続き(水準)」の評価	評価(10点満点)
/	<p>4</p>

「市民参加の手続き」の評価(手法ごと)

審議会の設置			10点満点	10点満点
評価項目(配点)	実施状況	条例基準	望ましい水準	
	任 期:平成30年11月～令和2年12月(3年間) 募集期間:平成30年8月1日～平成30年8月17日(17日間)			
1	公募委員の数・全体に占める割合 委員の人数:6人(男3女3) 市民公募委員:3人(うち無作為抽出1人)			
2	選考基準・公募委員の男女比・地域の割合、募集方法 応募者:3人(男2女1) 選出者:2人(男1女1) 選出地域:池の上小学校区2人 選考基準:公開 応募方法:郵便、電子メール、各センター・回収箱、担当課窓口 周知方法:広報しろい、HP、各センター、担当課窓口			
3	会議の回数・時間帯 会議の回数:6回 (全て公開) 時間帯:平日日中	6	4	
4	事前周知の方法・会議の公開等 HP、情報公開コーナー、図書館 会議終了後の会議資料公開:有			
5	結果公表・取扱い 公表の方法:HP 会議録:要点訳 公開に要する期間:2か月以内			

コメント

条例基準	望ましい水準
<ul style="list-style-type: none"> ・公募委員の募集方法や、審議会の結果公表の方法が不足している。 ・公募委員の選出地区や年齢層が偏っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・結果公表に時間がかかっている。会議録の公開は1か月以内が望ましい。 ・情報提供に関する審議会にも関わらず、結果公表がホームページのみ。情報公開コーナーや図書館等で公表しても良かったと思う。

パブリックコメント募集		10点満点	10点満点	
評価項目(配点)		実施状況	条例基準	望ましい水準
1	募集期間・提出方法	募集期間:令和2年12月1日～令和2年12月14日(14日間) 応募方法:郵便、ファクシミリ、電子メール、各センター、担当課窓口	6	4
2	提供資料	計画や条例の素案、計画や条例の概要、パブリックコメントの目的・意見の提出方法などを記した案内、意見書		
3	資料の提供場所	担当課窓口、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館		
4	事前周知の方法	広報しろい、HP、メール配信、その他の方法(市SNS)		
5	結果公表・取扱い	公表の方法:令和2年12月18日 HP 意見の件数:2人から2件 審議会等への結果報告:有(令和2年12月24日)		
コメント				
条例基準		望ましい水準		
<ul style="list-style-type: none"> ・事前周知でSNSを利用したことは評価できる。ただし、情報公開コーナーや図書館、センターで行われていないのが気になった。 ・結果公表がホームページのみ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・結果について、公表の前に審議会へ報告されていない。書面による報告など、工夫できたのでは。 ・募集期間が短い。 		

アンケート調査の実施			10点満点	10点満点
評価項目(配点)		実施状況	条例基準	望ましい水準
	実施したアンケート	白井市情報提供計画アンケート調査		
1	事前周知の方法	事前周知 無し	6	4
2	調査方法・調査期間	郵便 無記名式 令和2年3月27日(金)～令和2年4月12日(日) (17日間)		
3	調査対象	市内在住の16歳以上男女		
4	発送件数・回収件数・回収率	発送件数:2,000件 回収件数:799件 回収率:39.95%		
5	結果公表・取扱い	結果公表:令和2年8月31日 公表の方法:HP プライバシーに関わる情報:非公開 審議会等への結果報告:有(資料の配布・説明に加え議論を行った)		
コメント				
条例基準		望ましい水準		
<ul style="list-style-type: none"> ・事前周知が無かった。 ・結果公表がホームページのみ。別の方法でも公表すべきであった。 		<ul style="list-style-type: none"> ・回収率は高かったものの、事前周知が無かったことが回収率に響いたのではないかと考えられる。事前に様々なツールを使って周知することで、現状以上の成果が期待できたと思われる。 ・結果について、公表の前に審議会へ報告されていない。書面による報告など、工夫できたのでは。 		

終了事業 令和2年度

2.白井市国土強靱化地域計画の策定

総合コメント	総合評価(30点満点)
<ul style="list-style-type: none"> ・審議会に公募市民を入れた方が良かったのでは。 ・意見交換会の結果公表が担当課窓口のみであり、より多くの市民が議論の内容を知れるように他の場所でも公表するべきであった。 ・令和2年の審議会の開催が2回(うち1回は書面会議)。計画策定の審議会としては不十分ではないか。 	<p style="text-align: center;">13</p> <p style="text-align: center;">△(要改善)</p>
「市民参加の方法」の評価	評価(10点満点)
<p style="text-align: center;">【実施状況】</p> <p style="text-align: center;">審議会の設置: 令和元年7月1日～令和3年6月30日 パブリックコメントの募集: 令和3年1月6日～令和3年1月20日 意見交換会の開催: 令和2年11月21日～令和2年11月22日</p>	<p style="text-align: center;">5</p>
コメント	/
<ul style="list-style-type: none"> ・審議会を専門的な議論の場、意見交換会を市民代表との対話の場と分けており、バランスが良い。 ・市民の関心の高い事項であることから、広く市民と情報を共有するためにパブリックコメント及び意見交換会を実施したことは適切であった。 ・計画内容から、関係機関が集まる防災会議で審議されたのは理解できる。また、市民の意見を計画に反映させるためにパブリックコメントや意見交換会を実施したのも良かった。 	
「市民参加の手続き(基準)」の評価	評価(10点満点)
	<p style="text-align: center;">4</p>
「市民参加の手続き(水準)」の評価	評価(10点満点)
	<p style="text-align: center;">3</p>

「市民参加の手続き」の評価(手法ごと)

審議会の設置			10点満点	10点満点
評価項目(配点)	実施状況	条例基準	望ましい水準	
	任 期: 令和元年7月～令和3年6月(2年間) 募集期間: 無し(災害対策基本法第16条第6項の規定に基づき、千葉県防災会議の組織に準じて市条例において定めることとされているため。なお、本市条例において市長が必要と認める者(2名以内)を任命するとしているのは、災害時に市と連携が必要な農協及び商工会の職員を任命するため。)			
1	公募委員の数・全体に占める割合 委員の人数: 30人(男28女2) 市民公募委員: 0人	3	2	
2	選考基準・公募委員の男女比・地域の割合、募集方法			
3	会議の回数・時間帯 会議の回数: 2回 (全て公開)※うち1回は書面開催 時間帯: 書面開催、平日日中			
4	事前周知の方法・会議の公開等 ホームページ、情報公開コーナー、図書館、担当課窓口 会議終了後の会議資料公開: 無			
5	結果公表・取扱い 公表の方法: HP、担当課窓口 会議録: 要点訳 公開に要する期間: 1か月以内			

コメント

条例基準	望ましい水準
<ul style="list-style-type: none"> ・公募委員の設定が無く、基本的に一般市民が意見を述べるできない。 ・審議会の開催回数が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公募の委員が参加していない会議であるからこそ、市民に対して会議の開催周知を積極的に行うべきだったと思う。

パブリックコメント募集		10点満点	10点満点	
評価項目(配点)		実施状況	条例基準	望ましい水準
1	募集期間・提出方法	募集期間:令和3年1月6日～令和3年1月20日(15日間) 応募方法:郵便、ファクシミリ、電子メール、各センター、担当課窓口	6	5
2	提供資料	計画や条例の素案、計画や条例の概要、意見書		
3	資料の提供場所	担当課窓口、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館		
4	事前周知の方法	HP、情報公開コーナー、各センター、図書館、担当課窓口、その他の方法(保健福祉センター)		
5	結果公表・取扱い	公表の方法:令和3年1月25日 情報公開コーナー、HP、担当課窓口 意見の件数:0件 審議会等への結果報告:有(令和3年1月28日)		
コメント				
条例基準		望ましい水準		
<ul style="list-style-type: none"> ・多くの場所で資料を提供したことは評価できる。 ・パブリックコメントの結果が図書館で公表されていないのは残念。 		<ul style="list-style-type: none"> ・事前周知については保健福祉センターなど、様々な場所で積極的に行われている。 ・市民の関心の高い事項であることから、意見を多く集めるために資料の提供場所、周知の方法などにも工夫が欲しかった。 		

意見交換会		10点満点	10点満点
評価項目(配点)	実施状況	条例基準	望ましい水準
1 開催場所・時間・回数	開催場所:庁舎・保健福祉センター 時間:土日休日 回数:2回	5	3
2 資料の提供	有(配布)		
3 参加者の資格	自治会・自主防災組織に所属している市民		
4 事前周知の方法	HP、その他(対象団体へ郵送)、チラシによるPR		
5 結果公表・取扱い	開催記録の作成と公表:有(令和2年12月18日) 公表の方法:担当課窓口		
コメント			
条例基準		望ましい水準	
<ul style="list-style-type: none"> ・比較的市民が参加しやすい日が設定されていたため評価できる。 ・事前周知の方法が不足している。また、開催記録の公表が担当課窓口のみ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・結果は担当課窓口だけでなく、他の方法も活用して積極的に公表すべき。 	

終了事業 令和2年度

3.白井市地域防災計画の策定

総合コメント	総合評価(30点満点)
<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会を土日に開催したことで、多くの市民から意見を聞くことができた。 ・審議会に公募市民を入れた方が良かったのでは。 ・審議会開催の周知などを積極的に行ってほしかった。 	15
	○(妥当)
「市民参加の方法」の評価	評価(10点満点)
<p style="text-align: center;">【実施状況】</p> <p style="text-align: center;">審議会の設置：令和元年7月1日～令和3年6月30日 パブリックコメントの募集：令和2年12月1日～令和2年12月22日 意見交換会の開催：令和2年11月7日～令和2年11月8日</p>	6
コメント	/
<ul style="list-style-type: none"> ・市民の関心の高い事項であることから、広く市民と情報を共有するためにパブリックコメント及び意見交換会を実施したことは適切であった。 ・審議会を専門的な議論の場、意見交換会を市民代表との対話の場と分けており、バランスが良かった。 ・アンケートを活用しても良かったのではないかな。 	
「市民参加の手続き(基準)」の評価	評価(10点満点)
/	5
「市民参加の手続き(水準)」の評価	評価(10点満点)
/	4

「市民参加の手続き」の評価(手法ごと)

審議会の設置			10点満点	10点満点
評価項目(配点)	実施状況	条例基準	望ましい水準	
	任 期: 令和元年7月～令和3年6月(2年間) 募集期間: 無し(災害対策基本法第16条第6項の規定に基づき、千葉県防災会議の組織に準じて市条例において定めることとされているため。なお、本市条例において市長が必要と認める者(2名以内)を任命するとしているのは、災害時に市と連携が必要な農協及び商工会の職員を任命するため。)			
1	公募委員の数・全体に占める割合 委員の人数: 30人(男28女2) 市民公募委員: 0人			
2	選考基準・公募委員の男女比・地域の割合、募集方法			
3	会議の回数・時間帯 会議の回数: 3回 (全て公開)※うち2回は書面開催 時間帯: 書面開催、平日日中	4	2	
4	事前周知の方法・会議の公開等 ホームページ、情報公開コーナー、図書館、担当課窓口 会議終了後の会議資料公開: 有			
5	結果公表・取扱い 公表の方法: HP、担当課窓口 会議録: 要点訳 公開に要する期間: 1か月以内			

コメント

条例基準	望ましい水準
<ul style="list-style-type: none"> ・審議会の開催が3回と少なく、うち2回は書面会議。審議が尽くされたのか疑問に思う。 ・結果公表が図書館、情報公開コーナーで行われていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の開催が令和2年に集中している。 ・結果公表がホームページと担当課窓口のみなのは残念。一般市民が参加しないのであれば、様々な場所で積極的に公表すべきだったと思う。

パブリックコメント募集		10点満点	10点満点
評価項目(配点)		実施状況	条例基準 望ましい水準
1	募集期間・提出方法	募集期間: 令和2年12月1日～令和2年12月22日(22日間) 応募方法: 郵便、ファクシミリ、電子メール、担当課窓口	7 6
2	提供資料	計画や条例の素案、計画や条例の概要、パブリックコメントの目的・意見の提出方法などを記した案内、意見書	
3	資料の提供場所	担当課窓口、HP、情報公開コーナー、各センター、図書館、その他の方法(保健福祉センター3階)	
4	事前周知の方法	HP、情報公開コーナー、各センター、図書館、担当課窓口、その他の方法(保健福祉センター)	
5	結果公表・取扱い	公表の方法: 令和3年3月9日 情報公開コーナー、HP、担当課窓口 意見の件数: 5人から13件 審議会等への結果報告: 有(令和3年2月17日)	
コメント			
条例基準		望ましい水準	
<ul style="list-style-type: none"> ・計画の素案や概要、案内や意見書等の資料が提供されていた。 ・図書館や各センターで結果公表しても良かったのでは。 		<ul style="list-style-type: none"> ・事前周知については保健福祉センターなど、様々な場所で積極的に行われている。 ・市民の関心の高い内容であることから、資料の提供場所や周知の方法の工夫により大きな成果が得られたと推察される。 	

意見交換会		10点満点	10点満点
評価項目(配点)	実施状況	条例基準	望ましい水準
1 開催場所・時間・回数	開催場所:庁舎・保健福祉センター 時間:土日休日 回数:2回	6	3
2 資料の提供	有(配布)		
3 参加者の資格	自治会、自主防災組織に所属している市民		
4 事前周知の方法	HP、その他(対象団体に郵送)、チラシによるPR		
5 結果公表・取扱い	開催記録の作成と公表:有(令和2年11月16日) 公表の方法:担当課窓口		
コメント			
条例基準		望ましい水準	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民が参加しやすい土日に開催されており、評価できる。 ・全2回の開催だったが、もう少し開催回数を増やしても良かったのではないかな。 		<ul style="list-style-type: none"> ・結果は担当課窓口だけでなく、他の方法も活用して積極的に公表すべき。 	

※事業番号④「第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定」のアンケートに関する評価調書への添付が漏れていたため、本書のとおり添付いたします。

資料 4

【アンケートの概要】

1 アンケートの概要

1-1 名称	在宅介護実態調査
1-2 目的	高齢者及びその準備期の市民を対象にその生活状況等を調査し、介護保険サービスや生活支援サービス等のニーズ調査を把握するため。
1-3 対象・地域・抽出方法	対象 要介護認定を持った在宅生活者全数 地域 全域 抽出方法 全数 ↳ 理由 (目的達成のためより可能な限り多くの意見を把握するため。)
1-4 実施期間	27 日間 令和 2 年 1 月 17 日 (金)~令和 2 年 2 月 12 日 (水) ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 意見を施策へ反映させるための十分な検討期間を見込んで実施した <input type="checkbox"/> 意見を施策へ反映させるための十分な検討期間を見込まず実施した
1-5 調査方法	<input checked="" type="checkbox"/> 郵便 <input type="checkbox"/> WEB調査 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 記名式 <input type="checkbox"/> 無記名式 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (事前に調査票に氏名、住所、番号を付した連動方式。)
1-6 発送件数	発送 971 件
1-7 回答率向上の工夫	<input checked="" type="checkbox"/> 督促ハガキ等の送付 <input type="checkbox"/> その他の方法 ()
1-8 回収件数	回収 667 件 回収率 68.7 %

【公表事項・提出方法等】アンケート調査の実施等(第17条)

2 アンケートの(事前)周知

2-1 周知の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
2-2 実施目的の周知	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
2-3 周知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 広報しろい <input checked="" type="checkbox"/> ホームページ <input checked="" type="checkbox"/> 情報公開コーナー <input type="checkbox"/> 各センター <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 担当課窓口 <input type="checkbox"/> メール配信 <input type="checkbox"/> その他 ()

【意見の取扱】意見の取扱い(第8条)/意見の公表方法(第9条)

3 アンケートの取扱

3-1 結果の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 公表済 公表の日 令和 2 年 10 月 23 日 <input type="radio"/> 公表予定 予定日 令和 年 月 日 <input type="radio"/> 公表無し 理由 ()
3-2 公表の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 情報公開コーナー <input checked="" type="checkbox"/> ホームページ <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 広報しろい <input type="checkbox"/> 各センター <input type="checkbox"/> 担当課窓口 <input type="checkbox"/> メール配信 <input type="checkbox"/> その他 ()
3-3 プライバシーへの配慮	<input type="checkbox"/> プライバシーに関わる情報等も公開 <input checked="" type="checkbox"/> プライバシーに関わる情報等は非公開 ※「プライバシー」は情報公開条例第9条第1項各号及び第2項に定める内容
3-4 審議会等への結果報告	<input type="checkbox"/> 報告は行っていない <input type="checkbox"/> 資料の配布により報告 <input type="checkbox"/> 資料の配布・説明により報告 <input checked="" type="checkbox"/> 資料の配布・説明に加え議論を行った

1 アンケートの概要

1-1名称	介護人材実態調査
1-2目的	市内で介護保険サービスを提供している事業所の状況や意向について把握するため。
1-3 対象・地域・抽出方法	対象 介護サービス事業所
	地域 全域
	抽出方法 全事業者
	↳ 理由 (目的達成のためより可能な限り多くの意見を把握するため。)
1-4 実施期間	27 日間 令和 2 年 1 月 24 日 (金)~令和 2 年 2 月 12 日 (水)
	↳ <input checked="" type="checkbox"/> 意見を施策へ反映させるための十分な検討期間を見込んで実施した <input type="checkbox"/> 意見を施策へ反映させるための十分な検討期間を見込まず実施した
1-5 調査方法	<input checked="" type="checkbox"/> 郵便 <input type="checkbox"/> WEB調査 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他 ()
	<input checked="" type="checkbox"/> 記名式 <input type="checkbox"/> 無記名式 <input type="checkbox"/> その他 ()
1-6 発送件数	発送 63 件
1-7 回答率向上の工夫	督促ハガキ等の送付 <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法 (督促の電話)
1-8 回収件数	回収 44 件 回収率 69.8 %

【公表事項・提出方法等】アンケート調査の実施等(第17条)

2 アンケートの(事前)周知

2-1 周知の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
2-2 実施目的の周知	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
2-3 周知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 広報しろい <input checked="" type="checkbox"/> ホームページ <input checked="" type="checkbox"/> 情報公開コーナー <input type="checkbox"/> 各センター <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 担当課窓口 <input type="checkbox"/> メール配信 <input type="checkbox"/> その他 ()

【意見の取扱い】意見の取扱い(第8条)/意見の公表方法(第9条)

3 アンケートの取扱い

3-1 結果の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 公表済 公表の日 令和 2 年 10 月 23 日 <input type="radio"/> 公表予定 予定日 令和 年 月 日 <input type="radio"/> 公表無し 理由 ()
3-2 公表の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 情報公開コーナー <input checked="" type="checkbox"/> ホームページ <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 広報しろい <input type="checkbox"/> 各センター <input type="checkbox"/> 担当課窓口 <input type="checkbox"/> メール配信 <input type="checkbox"/> その他 ()
3-3 プライバシーへの配慮	<input type="checkbox"/> プライバシーに関わる情報等も公開 <input checked="" type="checkbox"/> プライバシーに関わる情報等は非公開 ※「プライバシー」は情報公開条例第9条第1項各号及び第2項に定める内容
3-4 審議会等への結果報告	<input type="checkbox"/> 報告は行っていない <input type="checkbox"/> 資料の配布により報告 <input type="checkbox"/> 資料の配布・説明により報告 <input checked="" type="checkbox"/> 資料の配布・説明に加え議論を行った

※下線部分は、評価シートに記載があり、第2・3回会議での発言があったものを示しています。

当日配布資料①

令和2年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号④ 第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定

委員氏名									
総合評価 ①+②+③ 上限(30点)		◎ 良好 22点	◎ 良好 20点	○ 妥当 19点	◎ 良好 21点				
総合コメント		・概ね良好な取組みがなされた。		・アンケートの回収率は大変素晴らしい、又、プライバシーに関する情報も非公開にする等配慮は素晴らしいです。しかし、調査対象が特定されているのが大変残念です。又、白井市の高齢者の人口に対してアンケートの発送件数は少ないと思います。		・市民参加の方法も妥当であり、3種類のアンケートを実施するなど、積極的に市民の声を集めようとしていると思います。ただ、気になるのがパブリックコメントの件数が1件であり、パブリックコメントの周知方法などをもっと積極的に進めても良いのではと思いました。			
担当課ヒアリング 質問事項				①パブリックコメントが一件ですが、なぜ少なかったと思われますか。 ②また、パブリックコメントの周知方法をもう少し積極的に行う必要があったと思いますが、その点についてどのように思われますでしょうか。		・条例で規定されている事項について遵守しているため、基本的には評価が高くなっている。しかし、パブリックコメントの実施状況が不十分であった。 ・パブリックコメントのみ広報が不十分であった理由は何が？ ・アンケート調査の回答率を上げるためにどのような取り組みをしたのか？			
評価項目	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	
①市民参加の方法	評点	8	・もう一つ方法が欲しい。	7	・大変残念な事は、パブリックコメントの意見の件数です。アンケートの発送件数は白井市の高齢者の人口に対して少ないように思います。プライバシーに配慮した情報の非公開等、対応は非常に素晴らしいと思います。	7	・審議会の開催、パブリックコメントの実施を行い、3種類のアンケートを実施するなど、市民参加の方法としては問題ないと考えます。	7	・審議会への市民参加とアンケートについては評価できるが、パブリックコメントの実施がやや不十分であった。
	区分	概ね適切		概ね適切		概ね適切		概ね適切	
②市民参加の手続き(基準)	評点	8		7		7		8	
	区分	妥当		妥当		妥当		妥当	
③市民参加の手続き(水準)	評点	6		6		5		6	
	区分	積極的		積極的		積極的		積極的	
手法ごとの評価	評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント	
審議会の設置	基準	・ほぼ基準を満たしている。		基準	・委員の選定において選考基準を独自に策定するなど、考慮した様子がつかえらると思います。		基準	・審議会の手続きにおいて、公募委員募集の周知方法を情報公開コーナーなどで行っても良かったと思います。	
	9			8			8	10	
	水準	・いま一歩。		水準	・公募委員の数は妥当であるが、市民公募委員の人数(無作為抽出・無作為抽出以外にかかわらず)の割合を増やした方がよいと思います。		水準	・周知方法や結果の公表など、より多くの市民に知ってもらうよう積極的に行っても良かったと思います。	
	7			7			7	7	
パブリックコメント (意見公募)募集	基準	・全般に情報の公開性が不足している。		基準	・市民にわかりやすく意見をもとめるためにも計画や条例の概要、意見書の提供だけではなく素案等も提供した方がよいのではないか？と思います。意見の件数は少ないと思います。		基準	・パブリックコメントの周知方法が広報紙だけであり、他の方法も検討する必要があったと思います。	
	7			6			5	8	
	水準	・上記に同じ。		水準	・望ましい水準に照らしあわせても意見の件数「1件」は少ないのではないか。		水準	・パブリックコメントの件数が1件であったことから、より積極的な周知の方法を検討すべきだったと思います。	
	5			5			4	5	
アンケート調査の実施	基準	・事前周知の方法が不足。		基準	・事前周知の方法として広報しろいのみになっているのは理由があるのか。 ・発送件数は白井市の高齢者の人口に対して少ない件数だと思えます。		基準	・アンケートの事前周知が広報のみであり、他の方法を検討しても良かったと思います。ただ、回収率が高いので大きな問題ではないかもしれません。	
	9			8			8	8	
	水準	・上記に同じ。		水準	・回収率は非常に素晴らしいと思います。発送件数は少なくはないでしょうか。		水準	・結果の公表が8ヶ月後でしたが、もう少し早く公開しても良かったと思います。また、事前周知についても積極的に進めても良かったと思います。	
	7			7			6	8	

※下線部分は、評価シートに記載があり、第2・3回会議での発言があったものを示しています。

当日配布資料①

令和2年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号④ 第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定

委員氏名								平均(小数点以下切り捨て)					
総合評価 ①+②+③ 上限(30点)		△ 要改善	11点	◎ 良好	22点	△ 要改善	10点	◎ 良好	24点	○ 妥当	18点		
総合コメント		1.事業内容から見て、委員は公算の個人、介護サービス事業者及び学識経験者だけではなく、医療・福祉・専門職・ボランティア・NPO法人他の団体も市民参加の対象とした方が良かったのでは。委員の発言状況はどうだったのか? 2.審議会が平成30年1回、平成31年1回、令和2年3回(内1回は、書面会議)は少ない。 3.事業期間が迫り、令和2年度の10月と12月にパタパタと策定したように見える。 4.形式的評価だけでなく、実質的評価による市民参加の評価も必要と思う。				・本事業計画策定に関して、アンケートの実施は、回収率も高く、非常に効果的で、評価できる。審議会に関しては、会議の運営に問題もあり、また、パブリックコメントは、何ら工夫、新たな取り組みも見られずいずれも評価できない。				・委員の男女比がバランスがとれている。 ・全体的に良好だと思う。			
担当課ヒアリング 質問事項		・パブリックコメント、アンケートの周知をHP限定にしている理由は? ・アンケート対象を65歳以上に限定しているのは何故?子世代の意見も取り入れるべきでは?				・本アンケートの対象となった全市民の数は約15,000人とと思われる。アンケートの発送枚数は2,500件なくても実態は捉えられと思います。 ・本アンケートに関して、氏名の必要性はあるのか、プライバシーとの関係性をどう考えているのか。				・アンケートの回収率を上げるために何か工夫しているのか?(回収率が良いので)			
評価項目	評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		
①市民参加の方法	評点	5	1.パブコメとアンケート調査を採用した理由は何か。 2.アンケートは個人だけでなく、団体等に対してもすれば良かったと思う。個人だけを対象としたのは何故か。 3.個人及び団体を含めた意見交換会も開催した方が良かったのでは。	8			4	審議会の設置、パブリックコメント、アンケートの実施は市民参加の方法として適切であるが、審議会の実施、パブリックコメントの実施に関しては、評価できない。本事業計画策定は、初めての計画策定ではない、過去の経験を生かした実施を望む。		9	・できればもう少し若い世代の人に参加してもらいたい。介護はこれからの課題なので、30代・40代の人にもっと関心を持ってもらうようにしてほしい。		
	区分	やや不適切	概ね適切		不適切		適切		やや不適切				
②市民参加の手続き(基準)	評点	5	/		8	/		4	/		8	/	
	区分	要改善			妥当			不良			妥当		
③市民参加の手続き(水準)	評点	1	/		6	/		2	/		7	/	
	区分	普通			積極的			やや積極的			とても積極的		
手法ごとの評価	評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		
審議会の設置	基準	1.応募者10名に対し、3名しか選出できなかった理由を知りたい。応募方法としてメール・FAXもあると良い。 2.審議会では活発な議論等があったのか、発言状況を知りたいと思った。 3.審議会の回数が5回? 3回?		基準	・合計10点		基準	・審議会の構成は、公募委員5名で、基準は満たしている。会議の開催が2018年12月、2019年11月各々1回、2020年に3回うち書面会議1回など運営は、妥当とは言えない。		基準	・会議の出席率が良い。		
	4			10			4			9			
	水準			水準	・合計9点		水準	・本事業計画策定は、初めての計画策定ではない、会議の開催など会議の運営に工夫がほしい。		水準	・6-6にあるような見る側への気配りはとてもいいと思う。		
	0			9			2			8			
パブリックコメント(意見公募)募集	基準	1.重要なテーマだけに募集期間は1カ月位は必要。 2.アクセス数が0ということは広報しただけでの事前周知に問題あり。		基準	・合計7点		基準	・募集期間に始まり、提供する資料、周知の内容等ほぼ基準通りである。		基準	・パブコメの公表方法がHPのみなので情報開示コーナー・図書館等でも行った方がよいと思う。		
	4			7			5			8			
	水準			水準	・合計6点		水準	・従来通りの方策で実施しており、何ら工夫、新たな取り組みが見られない。結果も生まれない。デジタル化も進み情報も多様化しておりデジタル化を手法に取り入れると、資料の提供場所に新たな先を採用するなどの取り組みを望む。		水準	・関心の高い事業だと思うのでもう少し意見があったらよいと思う。		
0			6			1			6				
アンケート調査の実施	基準	1.調査対象の年齢が65歳以上であるが、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査であることから、50歳代まで年齢層を下けた方が良かったのではないかと。 2.資料によると3種類のアンケート調査(調査票2頁)の記載もあるが。 3.アンケートの結果公表まで8カ月かかっているのは何故か?審議会で説明議論は8/26の書面会議であり、議論にならないのではないかと。		基準	・合計7点		基準	・65歳以上の市民を対象に地域も限定せず広範囲にアンケート実施。結果についての取り扱いもほぼ基準は満たしている。ただし、発送件数、調査票の氏名表示については検討を要す。		基準	・回収率がとても良い。		
	7			7			5			9			
	水準			水準	・合計5点		水準	・回収率も高く、結果は望ましい水準となっている。ただしプライバシー保護に関して疑問も残る。		水準			
3			5			3			8				

※下線部分は、評価シートに記載があり、第2・3回会議での発言があったものを示しています。

当日配布資料①

令和2年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑤ 第5次総合計画後期基本計画策定

委員氏名		◎ 良好 25点		○ 妥当 18点		○ 妥当 19点		◎ 良好 28点		
総合評価 ①+②+③ 上限(30点)		◎ 良好 25点		○ 妥当 18点		○ 妥当 19点		◎ 良好 28点		
総合コメント		・概ね良好な取組みがなされている。		・あらゆる方法を取り入れており大変素晴らしい。しかし、状況は一致していませんので、私は広義にとらえ方ではなく、そもそもの事業の概要や目的を狭義にとらえ方をした方が、白井市の未来はあると思います。		・市の最上位計画であることから、様々な市民参加の手法が行われており、基本的には問題はなかったと思います。ただし、アンケート調査の方法については、もう少し工夫が必要であったのではないかと感じます。		・総合計画の策定に相応しく、積極的に市民の声を聞こうとした姿勢が伺えた。パブリックコメントやワークショップ等で集められた意見が審議会の議論に反映されていたかは気になるが、実施段階から考えると、ちゃんと反映されていたのではないかと推察される。		
担当課ヒアリング 質問事項				・ワークショップ(令和2年度)が行われ盛況な様子だったが、何か理由があるのか、それを文書で残し、又職員同士で共有され、次に生かすようきめ細やかな対策をとられていますか。		・若い世代へのアンケート調査の回収の件数が少ないが、何か理由があるのでしょうか。タウンミーティングのワークショップの参加者数が少ないケースもあったが、何か理由があるのでしょうか。		・今回のようなバランスの良い市民参加の場が実現した要因は何か? 専門家による助言だったのか? もしくは積極的な職員が参加していたのか? これまでの総合計画の策定におけるノウハウなのか? ・パブリックコメントの意見において、「今後の参考とする」とされた意見はどのように審議会にフィードバックされたのか?		
評価項目	評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		
①市民参加の方法	評点	10	・4方法の実施は評価出来る。		7	・あらゆる方法を取り入れている。しかし、具体的な方向性は見えてきません。地球環境についてなのか、少子化についてなのか、内容を多角的にとらえず、焦点を絞ったアンケートにした方がよいと思う。随分早く打ち勝つためにもその点を意識された方がよいと思います。		7	・市の最上位計画である総合計画の策定において、必要な市民参加は行われていると思います。	
	区分	適切			概ね適切			適切		
②市民参加の 手続き (基準)	評点	8			6			9		
	区分	妥当			要改善			要改善		
③市民参加の 手続き (水準)	評点	7			5			9		
	区分	とても積極的			積極的			積極的		
手法ごとの評価	評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		
審議会の設置	基準	・評価出来る。		基準	・公選委員の地域が偏らないよう、又、年齢層も偏らないよう配慮されている。		基準	・審議会に関しては問題はなかったと思います。		
	10			7			8			
	水準	・結果公表が1か月以内でないのが惜しい。		水準	・コンスタントに会議がなされている。		水準	・問題はなかったと思います。		
	9			6			6			
パブリックコメント (意見公開)募集	基準	・概ね良好。		基準	・広報しつらい、メール等を利用して会議が一般に周知されていない。		基準	・パブリックコメントについて大きな問題はなかったと思います。		
	8			6			7			
	水準	・募集期間、提供資料が不足。		水準	・会議録の公開が2か月以内となっている。		水準	・一つ気になるのは、市にとって重要な計画であることから、パブリックコメントの期間をもう少し長くしても良かったと思います。		
	7			5			8	・パブリックコメントの意見について、全てが反映されていなかった。今後の参考とするとされた意見は、審議会判断されたのか?		
アンケート調査の実施	基準	・概ね良好だが、事前周知の方法に不足がある。		基準	・プライバシーに関わる情報等非公開でアンケートをされることはよいです。		基準	・アンケートに関しては、もう少し回収率を上げる工夫が必要であったと思います。		
	9			7			6			
	水準	・上記に同じ		水準	・Webによるアンケートは非常によいと思います。		水準	・若い世代へのアンケート調査など、回答数を増やす取り組みをもう少し積極的に取り組む必要があったと思います。		
	9			5			4			
ワークショップの開催	基準	・一部に取組不足がみられる。		基準	・タウンミーティングの意見交換会(令和元年度の時)を踏まえて令和2年度の意見交換会が活発な様子があったが、何か理由があったのか気になるところです。		基準	・ワークショップの開催周知が積極的に行われていますが、タウンミーティングでは参加人数が少ない回もあり、何か理由があったのか気になるところです。		
	7			7			6			
	水準	・上記に同じ		水準	・土日に開かれているのは大変素晴らしい。		水準	・ワークショップの開催通知は、積極的に行われていると思います。		
	6			6			8	・通常の広報以外にも参加者を増やすための取り組みが行われていた点が評価できた。参加者も多く、大変良い機会になったのではないかと推察される。		

※下線部分は、評価シートに記載があり、第2・3回会議での発言があったものを示しています。

当日配布資料①

令和2年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑤ 第5次総合計画後期基本計画策定

委員氏名		評価項目				平均（小数点以下切り捨て）									
総合評価 ①+②+③ 上限（30点）		○ 妥当	14点	◎ 良好	21点	○ 妥当	15点	◎ 良好	20点	◎ 良好	20点				
総合コメント		1.公募委員に年齢の偏りがある。66歳以上の応募者が56%にも拘わらず、0人。無作為抽出は不要ではないか。 2.審議会の最後の2回の出席率が低過ぎる。日程調整をすべきだった。 3.パブリックコメントの時期が遅く、審議会への報告等が8/21と事業終了間際であり、意見等に対する委員の検討時間が無い。パブリックコメントの期限を定めるべきであった。 4.アンケートを4年実施しているが、2回は審議会への報告もなく、1件はいつ報告したのかは不明。計画策定にどのように活かされたのか、良く解らない。 5.2種類のワークショップの違いが不明であると共に、計画策定にどのように活かされたのか不明。審議会への報告なし。 6.手書き面だけでなく、内容・結果の実質的な面でも評価すべきだと思う。		・将来を考慮したもっと若い世代の委員参加が望ましい。		白井市の根幹を成す計画であり、市民の関心も高い計画である。情報・周知の伝達の方法・工夫により、積極的な市民参加事業となる。		・応募が多かったりと市民の関心の高さがわかる。アイデアは良いが、保護者アンケートの回収が81件は少ないと思うので、どうすれば回収率が上がるのか検討してほしい。							
担当課ヒアリング 質問事項		1.公募委員は、白井市総合計画審議会の委員として平成29年8月に就任し、平成31年1月4日から今回の評価対象である第5次総合計画後期基本計画策定事業に携わったということですね。 2.アンケートの内、若い世代へのアンケートとモニターアンケートを審議会に何故報告しなかったのですか？ 3.タウンミーティングと意見交換会とは、どこが違うのですか？ 4.R1年9月に実施したタウンミーティングの参加者が少なかった理由は何か？それに比較してR2年1月・2月のワークショップの参加者が増えた理由は何ですか？						・ワークショップ後、資料は公開していないとなっているが、公開先にチェックがあるのほなせ。							
評価項目	評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント				
①市民参加の方法	評点	5	1.審議会の設置は平成31年1月もしくは第1回の4月からではありませんか。 2.市民参加の手法を多く使ったのは良かったと聞きます。		7			7	・市民にとっても関心が高い計画である。ワークショップの開催は、市民との直接意見交換で、非常に効果的である。パブリックコメント、アンケートに於いては、意見を取るための工夫一つでより大きな意見が期待できたと聞かれる。		7	・eモニターの抽出理由に（対象者は～）とあるが、回収率45.2%は低いと思う。			
	区分	やや不適切			概ね適切			概ね適切			概ね適切				
②市民参加の仕組み（基準）	評点	5			8			5			7				
	区分	要改善			妥当			要改善			妥当				
③市民参加の手続き（水準）	評点	4			6			3			6				
	区分	やや積極的			積極的			やや積極的			積極的				
手法ごとの評価	評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント				
審議会の設置	基準	1.公募者16人中、3名を選び、2名は無作為抽出とする理由は？応募者が多いため5名共公募者から選んでも良いのではないかと。不採用者には不採用の理由を説明した方が良いのではないかと。 3.第10回と第11回の審議会を策定時期の出席率が低いことに問題がある。全体で66.47%。公募委員は40～60%。日程調整すべきであった。 4.公募委員の応募者が66歳以上が9名ありながら、決定者0人は何故なのか？		基準	・総合計画でもあり、将来を考慮したもっと若い世代の委員参加が望ましい。		基準	・ほぼ基準通りである。		基準	・委員の都合を確認しているのに出席率が悪い（低い）回あるのほなせ。		基準		
	6			9			8			7			8		
	水準			水準	・公募委員が33%、市内在住者が75%であり委員割合は充分。 ・会議録などの公開に各センターも加えるべきでは？ ・議案の経過を内容毎に分けて記録出来ないか→全ての中からある事項の議論推移を確認して行くのは難しい。		水準	・白井市の根幹を成す計画であり、公募者の割合がもっと多く期待したい。		水準	・もう少し日程調整できたのではないかと。		水準		
	5			6			6			6			6		
パブリックコメント（意見公募）募集	基準	・意見の件数が6人から20件は、他の事案に比較して多い。関心が高いことが良く解る。審議会への報告が最後の審議会では遅すぎる。委員が検討する時間が無い。		基準	・公募意見のとりまとめがされていない。		基準	・ほぼ基準通りであるが、積極的に意見を取る姿勢が見られない。		基準	・意見が多くていいと思う。		基準		
	5			9			5			7			6		
	水準	・敢て加えるほどの内容とは思われない。		水準	・市として重要な計画であり募集期間が短かった。 ・概要版が作成されていない。 ・公募から結果公表まで約1年も要している。		水準	・根幹を成す計画、積極的に意見を知る工夫がほしい。		水準			水準		
	2			6			2			7			5		
アンケート調査の実施	基準	1.4つのアンケートを実施したことは良かった。 2.4つを同一基準で評価するのは難しい。 3.転入者アンケートは何件の転入者があったのか？いつの審議会に報告したのか不明。 4.若い世代へのアンケートの回収件数が81件だが、予定件数に対して回収率はどうかだったのか？ 5.モニターへの回収督促をすべきではなかったか。		基準			基準	・アンケートの実施方法、周知など不十分と思われる。		基準	・窓口でお願いしたり、保護者にQRコードを渡すのは良いアイデアだと思う。		基準		
	6			9			5			7			7		
	水準			水準	・各センターでの結果公表追加が望ましい。		水準	・WEBを取り入れてのアンケートの試みは評価するも、積極的に意見を取る配布方法なり周知なり工夫がほしい。		水準	・eモニター制を知らない人が多いと思う。		水準		
	5			9			2			7			6		
ワークショップの開催	基準	・事前周知を積極的に行ったことは分かる。		基準	・会議資料の公開が無い。 ・終了後の意見受けが無い。		基準	・タウンミーティング・意見交換会に於いて、参加者募集の周知の方法に工夫の跡も見られる。		基準	・令和元年の4回のみ出席がなぜ多いのか。		基準		
	6			7			5			7			6		
	水準	・開催記録の公表の時期は適切とは思いますが、意見への市の公表時期は遅い。		水準			水準	・市民の関心も高い計画である。開催資料の配布にとどまらず、声掛けなど積極的な行動がほしい。		水準	・令和2年はなぜほとんど参加者が減っているのか。		水準		
	4			5			3			6			6		

※下線部分は、評価シートに記載があり、第2・3回会議での発言があったものを示しています。

当日配布資料①

令和2年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑥ 白井市第2次教育大綱策定事業

委員氏名								
総合評価 ①+②+③ 上限(30点)		◎ 良好 21点	○ 妥当 17点	◎ 良好 20点	◎ 良好 23点			
総合コメント		・市民参加の方法がパブリックコメントのみというのは取組み不足。	・市民意見交換会(令和2年1月26日・文化センター)が行われたことは(学校・子育て分野の意見について計画策定の参考とした)、どこまで活発な意見の交換がなされたのでしょうか。	・パブリックコメントの手続きなどに関しては、基本的に問題が無かったと思います。ただ、ホームページのアクセス件数が少ないこと、パブリックコメントの件数も多くないことから、市民への周知方法についてもう少し積極的に行っても良かったと思います。	・専門的な内容であったため、パブリックコメントだけを実施したことは理解できるが、そうであれば、もう少し積極的にパブリックコメントを実施し、それらの意見を審議会にフィードバックする機会があっても良かったのではないかと考えられる。			
担当課ヒアリング 質問事項		・独自の審議会設置やアンケート調査の実施などは考慮に入れたのか。	・調査票3ページの8. 自己評価の文面にある「住民意識調査」「市民意見交換会」を活用しとあり、「活用し」は適切な表現ではないと思われま。す。「行い」が正確ではないかと思われま。す。いかがでしょうか。	・パブリックコメントの件数が少ない理由は何かありますでしょうか。	・今回パブリックコメントのみ実施した理由について教えてください。 ・パブリックコメントで吸い上げられた意見をあまり反映できなかった理由について教えてください。			
評価項目	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
①市民参加の方法	評点	6 ・パブリックコメントのみの市民参加では不足。	6 ・抜かり落ちないが、1人の5件の意見が今後の参考とする意見として反映されるものとしていただけを期待します。コメント(意見数)は少ないです。	6 市民の意見を把握するため、パブリックコメントは必要な参加手法であったと思います。	6 ・内容が専門的で柔軟ではないと考えられるため、パブリックコメントだけ行ったことは理解できるが、そうであれば、パブリックコメントをもっと積極的に行い、市民からの意見を吸い上げる努力があっても良かったのではないかと考えられた。			
	区分	やや不適切	やや不適切	やや不適切	やや不適切			
②市民参加の手続き(基準)	評点	9	6	8	9			
	区分	良好	要改善	妥当	良好			
③市民参加の手続き(水準)	評点	6	5	6	8			
	区分	積極的	積極的	積極的	とても積極的			
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
パブリックコメント (意見公募)募集	基準	・概ね適切であった。	基準	・すべて網羅されている。	基準	・パブリックコメントの手続きにおいて問題は無かったと思います。	基準	・パブリックコメントの基本的事項を抑えられていた。
	9		6		8		9	
	水準	・上記に同じ	水準	・計画や条例の概要が出されていない。	水準	・もう少し周知方法を積極的に行っても良かったと思います。	水準	・市民参加の機会がパブリックコメントだけであったにも関わらず、意見がほとんど反映されていない。審議会で検討する必要はなかったのか？
	6		5		6		8	

※下線部分は、評価シートに記載があり、第2・3回会議での発言があったものを示しています。

当日配布資料①

令和2年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑥ 白井市第2次教育大綱策定事業

委員氏名								平均(小数点以下切り捨て)			
総合評価 ①+②+③ 上限(30点)		○ 妥当	14点	○ 妥当	17点	× 不良	5点	◎ 良好	20点	○ 妥当	17点
総合コメント		1.市民参加の方法として、パブリックコメントだけでは不十分です。 2.アンケート調査を実施したとの記載があるが、何故、調査票に資料が添付されていないのか疑問に思う。その①内容(概要)、②計画策定時に反映したのか、③反映した内容を記載して欲しい。 3.審議会設置の代わりとして各機関と協議を行った内容及び計画策定に反映した内容を記載して欲しい。 4.手続き面だけではなく、内容・結果の実質的な面でも評価すべきだと思う。		・協議を行った審議会には市民も含まれているが、本件への直接的な市民参加としてはパブリックコメントだけで、アンケートは既存ルーチンを利用しており、これらがどの様に組み合わせて活用されたかが不明。 市民参加が求められたので、パブリックコメントだけでもやってみたとの印象を拭えない。		・本事業報告からは市民参加という形式づくりをただで市民参加事業とはいいがたい。 ・教育委員会内の各課に於いてアンケート調査を実施とあるが、実態が不明。また「白井市第5次総合計画後期基本計画」策定の際の「住民意識調査」など活用としたが、詳細不明。		・パブリックコメントの募集となっているが、アンケートも実施しているので良いと思う。			
担当課ヒアリング 質問事項		・パブコメの手続きは概ね基準通りだが、アクセス数13件と意見は1人では少なすぎる。市民参加の手法として唯一採用したにも拘わらず、この結果に対して、どのように考えていますか?				・各分野の審議会、校長会、教頭会などの意見を審議会を設けて論議すべきではなかったか。					
評価項目		評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント		
①市民参加の方法	評点	2	・総合コメントのとおり。	4	・協議を行った審議会には市民も含まれているが、本件への直接的な市民参加としてはパブリックコメントだけ。 ・アンケートは既存ルーチンを利用しており、これらがどの様に活用されたかが不明。	1	・本事業に於いて、唯一直接広く市民の意見を集めるために行われた手法にも拘らず、積極的に取り組んでいるとは感じられず、市民参加の効果も無いに等しい。	7		4	
	区分	不適切		不適切		不適切		概ね適切		不適切	
②市民参加の手続き(基準)	評点	8		9		3		7		7	
	区分	妥当		良好		不良		妥当		妥当	
③市民参加の手続き(水準)	評点	4		4		1		6		5	
	区分	やや積極的		やや積極的		普通		積極的		積極的	
手法ごとの評価		評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント		
パブリックコメント (意見公募)募集	基準			基準		基準	・パブリックコメントのほぼ基準は満たしていると思われるが、積極的に意見を取る姿勢が見られない。	基準	・パブコメの収集が目的であれば期間はもう少し長くても良かったと思う。	基準	
	8			9		3		7		7	
	水準			水準	・概要版が作成されていない。	水準	・積極的に意見をとる工夫がほしい。	水準		水準	
	4			4		1		6		5	

※下線部分は、評価シートに記載があり、第2・3回会議での発言があったものを示しています。

当日配布資料①

令和2年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑦ 白井市教育振興基本計画策定事業

委員氏名									
総合評価 ①+②+③ 上限(30点)		○ 妥当	17点	○ 妥当	17点	○ 妥当	17点	○ 妥当	19点
総合コメント		・パブリックコメントのみの方法では不足。		・1月26日文化センターにて行われた意見交換会で核心にせまった内容の議論がなされたのでしょうか。		・パブリックコメントの手続きなどに関しては、基本的に問題がなかったと思います。また、SNSやQRコードを活用して多くの市民から意見を集めようとしたことも評価できると思います。ただ、パブリックコメントの件数が0ということは、何かあったのでしょうか。		・専門的な内容であったため、パブリックコメントだけを実施したことは理解できるが、そうであれば、もう少し積極的にパブリックコメントを実施しても良かったのではないかと考えられる。オンラインアンケートを用いて若い人が手軽に参加できる手法を用いたことは評価できるが、それが若い人に浸透していなかったのではないかと考えられる。わかりやすい計画概要などを作成する、チラシを作るなど、積極的に広報すべきではなかったか？	
担当課ヒアリング 質問事項		・独自の審議会設置やアンケート調査の実施などは考慮に入れたのか。		・計画期間は令和3年4月から令和7年3月までとなっています。コロナ収束のめどがたちませんのでその点を意識した計画文書を作成することはできないのでしょうか。教育まで上流階級・中産階級と分かれて物事を考えていくということでしょうか。		・パブリックコメントの件数が0というのは、何か理由があるのでしょうか。		・QRコードでオンラインアンケートを行なった理由について教えてください。若い方の参加を促すためでしょうか？そうであれば、若い人がアクセスできる場所に広報をすることは考えませんでしたか？	
評価項目		評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
①市民参加の方法	評点	6	・市民参加の方法が1つだけでは不足。	6	・パブリックコメントが1月に実施され、アクセス数は130件程度であった。しかし、パブリックコメントの意見件数は0件とは少なすぎます。いかがなものでしょうか。	6	・市民の意見を把握するため、パブリックコメントは必要な参加手法であったと思います。	5	・専門的な内容であるため、パブリックコメントのみ行なったことは理解できるが、パブリックコメントが0件であったため、評価が低くなっている。
	区分	やや不適切		やや不適切		やや不適切		やや不適切	
②市民参加の手続き(基準)	評点	7	/	6	/	7	/	8	/
	区分	妥当		要改善		妥当		妥当	
③市民参加の手続き(水準)	評点	4	/	5	/	4	/	6	/
	区分	やや積極的		積極的		やや積極的		積極的	
手法ごとの評価		評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
パブリックコメント (意見公募)募集	基準		・結果公表をHPだけでは不十分。	基準	・条例の求める基準に沿っています。 ・SNSでの配信は新たな取組みとして評価できます。	基準	・パブリックコメントの手続きとして問題はなかったと思います。	基準	・パブリックコメントで求められる内容はクリアしている。
	7	6		7		8			
	水準		・上記に同じ	水準	・事前にセンター等に自ら足を運んで周知していない。	水準	・応募方法としてSNSを活用、資料提供としてQRコードを活用していることなど、より多くの市民から意見を集めようとしているところは良かったと思います。	水準	・QRコードを用いてオンラインアンケートを実施したことは評価できるが、あまり利用されていないのではないかと考えられる。
	4	5		4		6			

※下線部分は、評価シートに記載があり、第2・3回会議での発言があったものを示しています。

当日配布資料①

令和2年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑦ 白井市教育振興基本計画策定事業

委員氏名								平均（小数点以下切り捨て）					
総合評価 ①+②+③ 上限（30点）		△ 要改善	12点	○ 妥当	17点	× 不良	6点	○ 妥当	17点	○ 妥当	15点		
総合コメント		1.市民参加の方法として、パブリックコメントだけでは不十分です。 2.教育委員会のアンケート調査の内容や住民意識調査の内容について、何故、調査票に資料が添付されていないのか疑問に思う。その①内容(概要)は？②計画策定時に反映したのか、③反映した内容を記載して欲しい。 3.審議会設置の代わりとして各機関と協議を行ったと記載されているが、その内容及び計画策定に活用・参考にし、反映した内容を記載して欲しい。 4.パブコメの計画案がボリュームがあるのであれば、概要を作成して提供した方が市民に分かり易かったのではないか。 5.手続き面だけでなく、内容・結果の客観的な面でも評価すべきだと思う。		・協議を行った審議会には市民も含まれているが、本件への直接的な市民参加としてはパブリックコメントだけで、アンケートは既存ルーチンを利用しており、これらがどの様に組み合わせて活用されたかが不明。 市民参加が求められたので、パブリックコメントだけでもやってみたとの印象を拭えない。		・本事業報告からは市民参加という形式づくりをただだけで市民参加事業とはいいがたい。 ・教育委員会内の各課に於いてアンケート調査を実施とあるが、実態が不明。また「白井市第5次総合計画後期基本計画」策定の際の「住民意識調査」など活用としたが、詳細不明。		・パブリックコメント募集ではあるが、アンケート調査なども行っているのが適切だと思う。					
担当課ヒアリング 質問事項						・各分野の審議会、校長会、教頭会などの意見を審議会を設けて論議すべきではなかったか。							
評価項目		評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント				
①市民参加の方法	評点	2		4	・協議を行った審議会には市民も含まれているが、本件への直接的な市民参加としてはパブリックコメントだけ。アンケートは既存ルーチンを利用しており、これらがどの様に活用されたかが不明。	1	・本事業に於いて、唯一直接広く市民の意見を集めるために行われた手法であるが、市民参加の効果は無いに等しい。	7	・せっかくの募集にコメントがなかったのが残念だと思う。	4			
	区分	不適切		不適切		不適切		概ね適切		不適切			
②市民参加の手続き(基準)	評点	6		9		4		6		6			
	区分	要改善		良好		不良		要改善		要改善			
③市民参加の手続き(水準)	評点	4		4		1		4		4			
	区分	やや積極的		やや積極的		普通		やや積極的		やや積極的			
手法ごとの評価		評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント				
パブリックコメント (意見公募)募集	基準			基準		基準	・パブリックコメントの発信に於いては多少SNSやQRコードなど工夫は見られる。	基準	・アクセスしやすい工夫は良いと思う。	基準			
	6			9		4		6		6			
	水準			水準	・概要版が作成されていない。	水準	・内容が広範囲で、資料量も膨大である。意見を取るための方策がほしい。例えば、是非市民意見がほしいところを強調するなど。	水準	・期間をもう少し長くしても良かったと思う。	水準			
	4			4		1		4		4			

※下線部分は、評価シートに記載があり、第2・3回会議での発言があったものを示しています。

当日配布資料①

令和2年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑧
障害者計画2016-2025中間見直し及び第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画策定事業

委員氏名		◎ 良好 23点		○ 妥当 14点		○ 妥当 19点		◎ 良好 23点		
総合評価 ①+②+③ 上級 (30点)		◎ 良好 23点		○ 妥当 14点		○ 妥当 19点		◎ 良好 23点		
総合コメント		・概ね適切。		・内容が特異したものであるため、法律に関すること、障害福祉に関すること、専門的なこと、あらゆる知識が必要だと思われる。障害児通所支援等の提供量の見込みを促す計画であるなら、特定の障害者団体のヒアリングが必要であったとは感じないと思います。		・市民参加方法として、パブリックコメントやアンケート調査だけではなく、関係者個別にヒアリング調査を実施したことは良かったと思います。ただ、パブリックコメントの周知方法は、もう少し積極的に進めても良かったと思います。		・様々な市民参加の手法を組み合わせたことが評価できた。特に、団体へのヒアリングを行なって、より関係の深いステークホルダーの意見を聞き取りようとしていることも積極的であった。その他に該当するため、本種組みで評価することが難しかったが、担当する職員にとっても良い機会になったのではないかと考えられた。		
担当職ヒアリング 質問事項		・市民公募委員の人数は妥当か。		・特別に団体の方に（補助者の方含む）かなりプライバシーに配慮した形の質問事項が必要と思われるが、どこまで内容を吟味した項目を考えられましたでしょうか。		・ホームページのアクセス数や、パブリックコメントの件数が少ない理由は何かあるのでしょうか。		・資料等を福祉施設で公開しなかったのは何故でしょうか？ ・ヒアリングはどのように反映したのでしょうか？		
評価項目	評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		
①市民参加の方法	評点	10	・よく取り組まれている。		6	・各手法を取り入れ素晴らしい。公募委員の選出において、清水小学校区や南山小学校区等からの応募者はなく、地域の偏りがある事が気になります。		7	・市民参加の方法として、パブリックコメントやアンケート調査だけではなく、ヒアリング調査も実施したことは良かったと思います。	
	区分	適切			やや不適切			概ね適切		
②市民参加の 手続き (基準)	評点	8	/		4	/		7	/	
	区分	妥当			不良			妥当		
③市民参加の 手続き (水準)	評点	5	/		4	/		5	/	
	区分	積極的			やや積極的			積極的		
手法ごとの評価	評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		
審議会の設置	基準	・概ね適切だが、公募委員の比率を30%以上にしたい。		基準	・情報公開コーナー、HP、図書館以外周知されていないのが残念です。		基準	・審議会の進め方として大きな問題はなかったと思います。		
	8			4			7			
	水準	・上記に同じ		水準	・主要な場のみならず周知した方がよいです。		水準	・積極的に会議の事前周知や会議録の公開などを行っても良かったと思います。		
	5			3			5	・女性の割合が多いことが評価できる。福祉施設等で公開しても良かったのではないかと？		
パブリックコメント (意見公募)募集	基準	・概ね適切だが、意見がトータルで1件のみとは物足りない。		基準	・専門的な内容であるが基準に沿っているため評価にしたいです。		基準	・応募方法についてホームページを活用するなど、パブリックコメントの手続きとしては問題なかったと思います。		
	9			4			7			
	水準	・上記に同じ		水準	・パブリックコメントの取り扱いが0件とは悲しすぎる。		水準	・パブリックコメントの周知方法などをもう少し積極的に進めても良かったと思います。		
アンケート調査の実施	基準	・適切。		基準	・障害者手帳を所持していない市民に900名アンケートされたところがあるが、どのような内容なのか気になります。		基準	・アンケートの手続きとして問題はなかったと思います。		
	10			7			9			
	水準	・上記に同じ		水準	・回収率を上げるための工夫をされている（督促ハガキの送付）。素晴らしい。		水準	・アンケートの回収率を上げる工夫など行われており、問題なかったと思います。		
	9			7			9	・本計画の主旨にあったアンケートの方法がとられている。 ・障害者手帳所持者は全員、持っていない人は無作為とすることで、重み付けをしていることは評価できた。		
その他の方法	基準	・概ね適切だが、事前周知の方法は問題有。		基準	・特定された事業であるため一概に統一したものの見方をすることは難しい。		基準	・アンケートだけではなく、個別に関係者にヒアリングを行うことは必要だと思います。		
	8			4			8			
	水準	・上記に同じ		水準	・結果公表まで一年の期間は少々長いように思われます。		水準	・関係者のプライバシーに関わってくる人が多いと思います。そのなかで目的通り、ヒアリング調査ができたのではないかとと思います。		
	5			3			3	・ヒアリングの内容の要点を公開しているため評価を高くした。		

※下線部分は、評価シートに記載があり、第2・3回会議での発言があったものを示しています。

当日配布資料①

令和2年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑨
障害者計画2016-2025中間見直し及び第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画策定事業

委員氏名		△ 要改善		◎ 良好		× 不良		◎ 良好		○ 妥当		平均（小数点以下切り捨て）		
総合評価 ①+②+③ 上級（30点）		12点		21点		9点		24点		18点				
総合コメント		1.審議会の第1回目と2回目の間隔が9カ月以上長すぎる。書面会議とかが工夫が必要ではなかったのか。 2.公募委員の数が少ないのではないか。 3.パブリックコメントを実施したが意見が無かったのは内容に問題又は工夫が足りなかったからではないか。 4.アンケートの結果やヒアリング調査を計画策定に、どのように活かしたのか不明。 5.会議は公開の為、事前に資料を公開した方がよいと思う。 6.手続き面だけではなく、内容・結果の実質的な面でも評価すべきだと思う。		・複数の手法で障害者個人の意見を集めているが、審議会では公募人数が少なく、もっと増やすべきではないか。 ・結果公表までの時間がかりすぎている。また、結果に基づいた議論がしっかりとされたのか不明。		・初めての計画策定事業でない。審議会の開催から推察するに、十分な審議が行われたか疑問。パブリックコメント実施については検討を有す。		・全体的にバランスがとれていると思う。重要だがデリケートな事なのでもっと良くなってほしい。						
担当課ヒアリング 質問事項		1.6団体は、市内の総団体数の何割ですか。 2.応募者の51歳～65歳の2名を不採用とした理由は何か。 3.パブリックコメントを行ったが、意見が無かった理由は何だと思っていますか。 4.アンケートの報告を審議会に何時したのですか？もし、しなかったのであれば、その理由を教えてください。 5.ヒアリングの日時から開催記録の公表日まで1年は長すぎるのではないかと。 6.ヒアリング団体を3団体とした理由は？又何故この3団体としたのですか？												
評価項目		評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント			
①市民参加の方法	評点	5	・色々な手法を用いているのは良かったと思います。その手法を用いて得られた結果がどのように計画に活かされたのか具体的に説明があれば良かったのに、無いため、活かすためのものが得られなかったのではないかとこの疑問を抱いた。	7		3	・アンケート調査の実施については実施方法に満足しないが評価。審議会、パブリックコメントについては評価せず。その他の手法については、担当課による業界団体ヒアリングで市民参加としては適切でない判断、評価対象外とした。	9	・パブコメが少ないのが少し気になる。			6		
	区分	やや不適切		概ね適切		不適切		適切				やや不適切		
②市民参加の手続き（基準）	評点	5		9		4		8				6		
	区分	要改善		良好		不良		妥当				要改善		
③市民参加の手続き（水準）	評点	2		5		2		7				4		
	区分	やや積極的		積極的		やや積極的		とても積極的				やや積極的		
手法ごとの評価		評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント			
審議会の設置	基準		・会議は公開としているのだから、聴取者のために会議資料を事前公開にした方が参加し易いのではないかと。	基準		基準	・審議スケジュールが問題である。第1回2018年10月、第2回～第5回2020年7月から、2年間近く審議無し。計画通りの審議ができたのか疑問である。	基準	・男女比・出席率ともに良いと思う。			基準		
	6			9		2		9				6		
	水準		・1回目と2回目の審議会の間隔が長すぎる。書面会議等の活用はできなかったのですか？	水準	・障害者関係団体の参加はあるがもっと公募人数を増やす必要がある。 ・各センター等での募集が無い。	水準	・審議内容と共に審議スケジュールを計画し、開催間隔も一定の間隔で実施する。	水準				水準		
	3			4		1		8				4		
パブリックコメント（意見公募）募集	基準		・意見の件数が「0」なのは、やり方に問題はなかったのか。	基準		基準	・基準は満たしていると思うが、意見は無し。積極的に意見を取る姿勢が見られない。	基準	・期間も長めに設定されていて良いと思う。			基準		
	4			9		4		8				6		
	水準		・審議会にどのように報告したのか。	水準	・概要版の作成が無い。 ・結果公表がされていないものがある。	水準	・今回が初めての実施でなく、実行が上から下へであれば、取りやめて、他の手法に注力する方法もある。	水準				水準		
	2			6		1		6				4		
アンケート調査の実施	基準			基準		基準	・回収率も高く、基準通りと思われるが選定者の範囲や、プライバシーについて疑問も残る。	基準	・期間が長めになっているのは良いと思う。回収率がもう少し高ければと思う。			基準		
	7			9		6		8				8		
	水準		1.何回の審議会に報告したのか。調査票3頁に記載が無い。 2.アンケート結果を計画案にどのように活用したのか不明。	水準	・各センターでの周知がなされていない。 ・結果公表まで半年以上は長すぎる。 ・結果に基づいた議論がされていない。	水準	・アンケートを実施する前に、アンケートの内容、特にプライバシーの問題も含め、審議会に協議すること。	水準				水準		
	5			5		4		7				6		
その他の方法	基準		1.ヒアリングの調査目的やその内容は良かったと思う。 2.開催日と開催記録の公表日が前後逆ではないか。 3.ヒアリング団体を3団体とした理由は？ 4.当該団体とした理由は？ 5.ヒアリング結果がどのように活かされたのかを記載した方がよい。	基準		基準		基準	・複数の団体への調査は良いと思う。			基準		
	5			9		—		9				7		
	水準		・評価が難しい。	水準	・記録の公表に1年間要している。	水準		水準				水準		
	0			5		—		7				4		

事業番号④ 第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定

※評価シートに記載があるものを除いた第2回会議での発言を記載しています。
 ※下線部分は、総合的評価に関連する発言を示しています。

	第3回会議での意見	
	良かった点	改善点
●●委員		
●●委員	・ <u>市民参加の場は整っていたと思われる。</u> （全ての手法）	
●●委員		
●●委員		
●●委員		
●●委員		・ <u>アンケートで介護世代の意見も取り入れるべきだったのではないか。</u> （アンケート） ・ <u>パブリックコメントの結果公表がホームページのみ。高齢者はほとんどホームページを見ない。</u> （パブリックコメント）
●●委員		
●●委員	・ <u>アンケートの期間が27日間と長めに設けられていた。</u> （アンケート）	

事業番号⑤ 第5次総合計画後期基本計画策定

※評価シートに記載があるものを除いた第3回会議での発言を記載しています。
 ※下線部分は、総合的評価に関連する発言を示しています。

	第3回会議での意見	
	良かった点	改善点
●●委員		
●●委員		
●●委員		
●●委員	・ <u>会議が計画通り、コンスタントに行われていた。</u> (審議会)	
●●委員		
●●委員		・ 「まちづくりに関するeモニターアンケート」の発件数が115件とそもそもの母数が少ない。(アンケート)
●●委員		
●●委員	・ <u>概ね良好な取組みがなされていた。</u> (全ての手法)	

事業番号⑥ 第2次教育大綱策定事業

※評価シートに記載があるものを除いた第3回会議での発言を記載しています。
 ※下線部分は、総合的評価に関連する発言を示しています。

	第3回会議での意見	
	良かった点	改善点
●●委員		
●●委員		
●●委員		
●●委員		
●●委員		
●●委員		
●●委員		
●●委員		・ <u>アンケートの実施内容が不明。</u> （アンケート）

事業番号⑦ 白井市教育振興基本計画策定事業

※評価シートに記載があるものを除いた第3回会議での発言を記載しています。
 ※下線部分は、総合的評価に関連する発言を示しています。

	第3回会議での意見	
	良かった点	改善点
●●委員		
●●委員		
●●委員		
●●委員	・ <u>パブリックコメントについては基準に沿って行われていた。</u> (パブリックコメント)	・ <u>パブリックコメントの件数が0件。</u> (パブリックコメント)
●●委員		
●●委員		・ <u>教育大綱と同様、審議会を設けないなど手法が固定的である。</u> (全ての手法)
●●委員		
●●委員	・ <u>SNSやQRコードなど活用していた点は評価できる。</u> (パブリックコメント)	

事業番号⑧ 障害者計画2016-2025中間見直し及び 第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画策定事業

※評価シートに記載があるものを除いた第3回会議での発言を記載しています。
 ※下線部分は、総合的評価に関連する発言を示しています。

	第3回会議での意見	
	良かった点	改善点
●●委員		
●●委員		
●●委員		
●●委員		
●●委員		
●●委員		・ <u>障害者を支える家族の意見や課題についてアンケート等で取り入れても良かったのではないか。</u> （アンケート）
●●委員		・ 団体ヒアリングのメンバーが固定的になっているのではないか。（団体ヒアリング） ・ 内容が専門的であり、事業担当課職員の中でも知識の差があると思われるため、会議等により職員同士のレベルを合わせる必要があるのではないか。（その他）
●●委員		・ 団体ヒアリングは1人ではなく、複数人に受けてもらった方が良かったのでは。（団体ヒアリング）

第5回市民参加推進会議スケジュール（案）について

日 時：令和4年2月9日（水）午後1時30分～17時
場 所：白井市役所本庁舎2階 災害対策室1

スケジュール（案）

○事務連絡（総合的評価の確認の流れを説明）【計10分】

○総合的評価の確認 5事業【計125分】

①第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定（高齢者福祉課）（25分）

②第5次総合計画後期基本計画策定（企画政策課）（25分）

③白井市第2次教育大綱策定事業（企画政策課）（25分）

④白井市教育振興基本計画（教育総務課）（25分）

⑤障害者計画2016-2025中間見直し及び第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画策定事業（障害福祉課）（25分）

○休憩【計10分】

○提言事項の検討【計60分】

○その他事務連絡【計5分】